

第九十回 罹災都市借地借家臨時處理法案 特別委員會議事速記錄第三號

貴族院 帝國議會

罹災都市借地借家臨時處理法案

特別委員會

付託議案

改正する法律案

昭和二十一年七月十五日(月曜)

午前十時十二分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨ

リ罹災都市借地借家臨時處理法案

ノ特別委員ヲ開キマス、總括的御

質問ガマダ残ツテ居ルサウデアリ

マスカラ御願ヒ致シマス

○作間耕造君

此ノ法案ニ關聯致

シマスル總括的質問トシテハ差當

リ一つシカ残ツテ居マセヌガ、其

ノ一つノ點ハ地代家賃ハ國民生活

ノ日常經濟ニ於テ大衆ノ爲ニハ相

當重要ナル支出トナツテ、家庭生

活ニ影響スル所ガ頗ル多イノデア

リマス、社會的ニモ矢張リ大キナ

問題ノ一つ見テ宜シイノデアリ

マスルガ、其ノ管轄、所管ト申シ

マセウカ、ソレニ付テドウモ從來

少シク迷フ所ガアルノデスネ、地

代家賃ノ額ハ統制令ニ依ツテ一應

制約ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ

是ハ特別ノ事情ノアル時ニ值上ヲ

請求スル、改定ヲ請求スルト云フ

時ニハ地方廳ヘ、即チ東京都ニ於

テハ都廳へ申請ヲシテ、都廳ニ於

ケル或種ノ委員會デソレヲ裁定ス

ルヤウニスル、是ハ厚生省ガ出來

ル前回

昭和二十一年七月十五日(月曜)

午前十時十二分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨ

リ罹災都市借地借家臨時處理法案

ノ特別委員ヲ開キマス、總括的御

質問ガマダ残ツテ居ルサウデアリ

マスカラ御願ヒ致シマス

○作間耕造君

此ノ法案ニ關聯致

シマスル總括的質問トシテハ差當

リ一つシカ残ツテ居マセヌガ、其

ノ一つノ點ハ地代家賃ハ國民生活

ノ日常經濟ニ於テ大衆ノ爲ニハ相

當重要ナル支出トナツテ、家庭生

活ニ影響スル所ガ頗ル多イノデア

リマス、社會的ニモ矢張リ大キナ

問題ノ一つ見テ宜シイノデアリ

マスルガ、其ノ管轄、所管ト申シ

マセウカ、ソレニ付テドウモ從來

少シク迷フ所ガアルノデスネ、地

代家賃ノ額ハ統制令ニ依ツテ一應

制約ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ

是ハ特別ノ事情ノアル時ニ值上ヲ

請求スル、改定ヲ請求スルト云フ

時ニハ地方廳ヘ、即チ東京都ニ於

テハ都廳へ申請ヲシテ、都廳ニ於

ケル或種ノ委員會デソレヲ裁定ス

ルヤウニスル、是ハ厚生省ガ出來

ル前回

昭和二十一年七月十五日(月曜)

午前十時十二分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨ

リ罹災都市借地借家臨時處理法案

ノ特別委員ヲ開キマス、總括的御

質問ガマダ残ツテ居ルサウデアリ

マスカラ御願ヒ致シマス

○作間耕造君

此ノ法案ニ關聯致

シマスル總括的質問トシテハ差當

リ一つシカ残ツテ居マセヌガ、其

ノ一つノ點ハ地代家賃ハ國民生活

ノ日常經濟ニ於テ大衆ノ爲ニハ相

當重要ナル支出トナツテ、家庭生

活ニ影響スル所ガ頗ル多イノデア

リマス、社會的ニモ矢張リ大キナ

問題ノ一つ見テ宜シイノデアリ

マスルガ、其ノ管轄、所管ト申シ

マセウカ、ソレニ付テドウモ從來

少シク迷フ所ガアルノデスネ、地

代家賃ノ額ハ統制令ニ依ツテ一應

制約ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ

是ハ特別ノ事情ノアル時ニ值上ヲ

請求スル、改定ヲ請求スルト云フ

時ニハ地方廳ヘ、即チ東京都ニ於

テハ都廳へ申請ヲシテ、都廳ニ於

ケル或種ノ委員會デソレヲ裁定ス

ルヤウニスル、是ハ厚生省ガ出來

ル前回

昭和二十一年七月十五日(月曜)

午前十時十二分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨ

リ罹災都市借地借家臨時處理法案

ノ特別委員ヲ開キマス、總括的御

質問ガマダ残ツテ居ルサウデアリ

マスカラ御願ヒ致シマス

○作間耕造君

此ノ法案ニ關聯致

シマスル總括的質問トシテハ差當

リ一つシカ残ツテ居マセヌガ、其

ノ一つノ點ハ地代家賃ハ國民生活

ノ日常經濟ニ於テ大衆ノ爲ニハ相

當重要ナル支出トナツテ、家庭生

活ニ影響スル所ガ頗ル多イノデア

リマス、社會的ニモ矢張リ大キナ

問題ノ一つ見テ宜シイノデアリ

マスルガ、其ノ管轄、所管ト申シ

マセウカ、ソレニ付テドウモ從來

少シク迷フ所ガアルノデスネ、地

代家賃ノ額ハ統制令ニ依ツテ一應

制約ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ

是ハ特別ノ事情ノアル時ニ值上ヲ

請求スル、改定ヲ請求スルト云フ

時ニハ地方廳ヘ、即チ東京都ニ於

テハ都廳へ申請ヲシテ、都廳ニ於

ケル或種ノ委員會デソレヲ裁定ス

ルヤウニスル、是ハ厚生省ガ出來

ル前回

昭和二十一年七月十五日(月曜)

午前十時十二分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨ

リ罹災都市借地借家臨時處理法案

ノ特別委員ヲ開キマス、總括的御

質問ガマダ残ツテ居ルサウデアリ

マスカラ御願ヒ致シマス

○作間耕造君

此ノ法案ニ關聯致

シマスル總括的質問トシテハ差當

リ一つシカ残ツテ居マセヌガ、其

ノ一つノ點ハ地代家賃ハ國民生活

ノ日常經濟ニ於テ大衆ノ爲ニハ相

當重要ナル支出トナツテ、家庭生

活ニ影響スル所ガ頗ル多イノデア

リマス、社會的ニモ矢張リ大キナ

問題ノ一つ見テ宜シイノデアリ

マスルガ、其ノ管轄、所管ト申シ

マセウカ、ソレニ付テドウモ從來

少シク迷フ所ガアルノデスネ、地

代家賃ノ額ハ統制令ニ依ツテ一應

制約ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ

是ハ特別ノ事情ノアル時ニ值上ヲ

請求スル、改定ヲ請求スルト云フ

時ニハ地方廳ヘ、即チ東京都ニ於

テハ都廳へ申請ヲシテ、都廳ニ於

ケル或種ノ委員會デソレヲ裁定ス

ルヤウニスル、是ハ厚生省ガ出來

ル前回

昭和二十一年七月十五日(月曜)

午前十時十二分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨ

リ罹災都市借地借家臨時處理法案

ノ特別委員ヲ開キマス、總括的御

質問ガマダ残ツテ居ルサウデアリ

マスカラ御願ヒ致シマス

○作間耕造君

此ノ法案ニ關聯致

シマスル總括的質問トシテハ差當

リ一つシカ残ツテ居マセヌガ、其

ノ一つノ點ハ地代家賃ハ國民生活

ノ日常經濟ニ於テ大衆ノ爲ニハ相

當重要ナル支出トナツテ、家庭生

活ニ影響スル所ガ頗ル多イノデア

リマス、社會的ニモ矢張リ大キナ

問題ノ一つ見テ宜シイノデアリ

マスルガ、其ノ管轄、所管ト申シ

マセウカ、ソレニ付テドウモ從來

少シク迷フ所ガアルノデスネ、地

代家賃ノ額ハ統制令ニ依ツテ一應

制約ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ

是ハ特別ノ事情ノアル時ニ值上ヲ

請求スル、改定ヲ請求スルト云フ

時ニハ地方廳ヘ、即チ東京都ニ於

テハ都廳へ申請ヲシテ、都廳ニ於

ケル或種ノ委員會デソレヲ裁定ス

ルヤウニスル、是ハ厚生省ガ出來

ル前回

昭和二十一年七月十五日(月曜)

午前十時十二分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨ

リ罹災都市借地借家臨時處理法案

ノ特別委員ヲ開キマス、總括的御

質問ガマダ残ツテ居ルサウデアリ

マスカラ御願ヒ致シマス

○作間耕造君

此ノ法案ニ關聯致

シマスル總括的質問トシテハ差當

リ一つシカ残ツテ居マセヌガ、其

ノ一つノ點ハ地代家賃ハ國民生活

ノ日常經濟ニ於テ大衆ノ爲ニハ相

當重要ナル支出トナツテ、家庭生

活ニ影響スル所ガ頗ル多イノデア

リマス、社會的ニモ矢張リ大キナ

問題ノ一つ見テ宜シイノデアリ

マスルガ、其ノ管轄、所管ト申シ

マセウカ、ソレニ付テドウモ從來

少シク迷フ所ガアルノデスネ、地

代家賃ノ額ハ統制令ニ依ツテ一應

制約ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ

是ハ特別ノ事情ノアル時ニ值上ヲ

請求スル、改定ヲ請求スルト云フ

時ニハ地方廳ヘ、即チ東京都ニ於

テハ都廳へ申請ヲシテ、都廳ニ於

ケル或種ノ委員會デソレヲ裁定ス

ルヤウニスル、是ハ厚生省ガ出來

ル前回

昭和二十一年七月十五日(月曜)

午前十時十二分開會

○委員長(子爵高木正得君) 是ヨ

リ罹災都市借地借家臨時處理法案

ノ特別委員ヲ開キマス、總括的御

質問ガマダ残ツテ居ルサウデアリ

マスカラ御願ヒ致シマス

○作間耕造君

此ノ法案ニ關聯致

シマスル總括的質問トシテハ差當

リ一つシカ残ツテ居マセヌガ、其

ノ一つノ點ハ地代家賃ハ國民生活

ノ日常經濟ニ於テ大衆ノ爲ニハ相

當重要ナル支出トナツテ、家庭生

活ニ影響スル所ガ頗ル多イノデア

リマス、社會的ニモ矢張リ大キナ

問題ノ一つ見テ宜シイノデアリ

マスルガ、其ノ管轄、所管ト申シ

マセウカ、ソレニ付テドウモ從來

少シク迷フ所ガアルノデスネ、地

代家賃ノ額ハ統制令ニ依ツテ一應

制約ヲ受ケテ居ルノデアリマスガ

是ハ特別ノ事情ノアル時ニ值上ヲ

請求スル、改定ヲ請求スルト云フ

時ニハ地方廳ヘ、即チ東京都ニ於

テハ都廳へ申請ヲシテ、都廳ニ於

ケル或種ノ委員會デソレヲ裁定ス

云フ御考ノヤウデアリマスガ、御
事其ノ權限ヲ行使スルコトガ建前
ニナツテ居リマス、普通ノ行政事
務ニハ關興シナイト云フコトヲ堅
持シテ居リマス、從ツテ地代、家
賃ノ如キニ至ツテモ、是ガ一度紛
争事件トナレバ司法省デ之ヲ取扱
フノデアリマスガ、ソレ迄ノ過程
ニ於ケル行政問題ト云フモノハ司
法省デハ關興致スコトハ出來ナイ
ノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒ
マス、然ラバ之ヲ復興院ノ如キ非
常ニ事務ノ煩多ナ所デ統一ヲシテ
行クト云フコトハイカヌノヂヤナ
イカト云フ御言葉ノヤウデアリマ
スガ、御承知ノ通り日本デハ只今
戰災地ノ問題ト云ヒ其ノ他ノ諸般
ノ事項ニ付テ、復興院ノ事務ノ忙
シイコトハ尤モデアリマスガ、地
代、家賃ノ問題ニシテモ主トシテ
復興事務ニ關係ガアルノデアリマ
スカラ、復興院ノ所管事項トシテ
之ヲ處理シテ行クト云フコトハ、
最モ妥當ナ取扱ト存ジテ居ル次第
デアリマス

又、一致スベキモノデアル、其ノ間區々デアルコトハ、不合理デアリ甚ダ實際ノ事情ニ適シナイ、成定ムルコトハ普通ノ行政ニナツテ司法省ノ職域ヲ脱スルコトニハナル程仰セノ通り、唯家賃、地代ヲリマセウガ、家賃、地代値上請求此ノ許可事項ハ是ハ争議ノ一種ト見テ司法省ニ移サレテ、サウシテ非訟事件ニ依ツテ取扱ハレタラドウデアルカ、私ハ斯ウ云フ趣旨デ申上ゲタノデアリマス、單ニ家賃地代ノ標準ヲ一般的ニ御定メ願フト云フヤウナ普通行政ニ屬スル事務ニ付テハ勿論大臣仰セノ通りデスガ、私ハ値上改定ノ許可ハ實質上ノ一種ノ爭議デアルカラ、此ノ許可ノ事項ハ他ノ省ニ任セズシテ司法省ニ適當ナ機會ニ於テ御包容ナサレテハドウデアルカト云フ意味デ申上ゲタ次第デアリマス、今一度其ノ點ニ付テ御考ヲ承レ、バ仕合セデアリマス

レカラ地代、家賃統制令ハ、一昨
日カニチヨツト觸レマシタヤウニ
早晩改正セラレル豫定デアリマス
サウシテ其ノ場合ニハ、裁判トカ
調停トカ和解ト云フコトニ依ツテ
定メラレタ額ハ、直チニ統制額ト
云フ風ニナルヤウニ、我々事務當
局トシテハ努力シテ、其ノ關係ヲ
統一スル考デアリマス

レデ借地法第六條ノ所謂法定更新ニ付キマシテモ「前條第一項ノ規定ヲ準用ス」トアリマスカラント十年ナリト、斯ウ云フコトニナル借地法第七條ニ付キマシテモ此ノ借地権ノ消滅シタ、消滅前ニ建物ヲ新タニ築造シタ場合ノ借地権ニ付キマシテハ、矢張リ三十年二十年ト、斯ウ云フ風ニナツテ居ル、處方本法ニ依ル借地権ノ更新ニ付テハ何モ規定ガナインデスカラシテ、勢ヒ吐ノ四條、五條、六條、七條ト云フ三十一年ニナルコトハ此ノ前政府委員ノ説明セラレタ通リデアラウトモノニ依ツテ更新ノ期間ガ二十年ノ間ニアルカドウカト云フコトニ付テハ疑ハシイノデハナイカト思フ、併シ果シレガ正當ナ結論デアルカドウカト云フコトニ付テハメタノハ、基本タル二條ノ規定ニ依ツテ大體二十年以上短期ノ借地権ハ認メナインデアツテ、二十年以上、三十年ト云フヤウナコトヲ第二條デ決メテ居ルカラ、更新ノ権ハ認メナインデアツテ、二十年以上、三十年トスルト云フ時モ二十年、三十年トスウ云フ風ニ規定ガ出來テ居ル、果シテ然ラバ、本法ノ規定ニ依ツテ基本ヲ更新ノ時ニハ十年トスルト云フコトニナラザルヲ得ナインデハナム十年トシタ以上ハ、更新ノ場合ニ於テモ矢張リ借地法ノ規定ニ拘ラズ更新ノ時ニハ十年トスルト云フ

イカト思フノデス、其ノ點ハ私ノ
第一ノ疑問デ、若シ更新ノ場合ニ
是ハ初ハ十年ダツタケレドモ、更
新シテはヲ二十年三十年ニスルト
云フ必要ガ果シテアルノカドウカ
ト云フコトハ、是ハ疑問デハナイ
カト思フ、其ノ點ニ付テ御説明ヲ
伺ヒタイ

於テ二條ノ規定ノミニカラズト云
フコトニ致シマシテ、ソレ以外ハ
總テ借地法ニ任スト云フ建前デ進
ミマシタ關係上、先日申上げマン
タヤウニ、更新ノ場合ニモ矢張リ
二十年三十年ト云フコトニナル考
デ立案ヲ致シタノデアリマス、解
釋上ハ第二條ノ規定ダケヲ除外シ
テ、ソレヲ十年トシテ居リマスカ
ラ、解説ト致シマシテハ、其ノ更
新モ矢張リ十年ト解釋サレナイデ
矢張リ借地法ノ一般ノ規定ガ働く
ヤウニ解釋シ得ルノハナイカト
思ヒマス、立法論トシテハ初メ十
年デアリナガラ、今度二十年三十
年ト云フ風ナコトヲ認メルノハド
ウカト云フコトハ、是ハ色々ノ議
論ノ餘地モアラウト思ヒマスガ、
解釋上ハ大體借地法ガ権ツテ來ル
ト云フ解釋ニ入ルト考ヘマス、而
シテ假ニ十年ヲ經過シテ相當立派
ノ家屋ガ建ツテ居ルト云フ場合ニ
ノ規定ヲ當然被ル頭デ立案致シタ
ノデアリマス

○霜山精一君 「第二條の規定に
かかはらず」トアリマスカラ、一
應サウ云フ解釋モ立ツト思ヒマス
ガ、又解釋ノ仕様ニ依ツテハ、更新
新ト云フコトノ性質カラ、基本ノ
存續期間ガ十年デアルニ拘ラズ、
更新シテソレガ二十年三十年ニ延
期上ハ第二條ノ規定ダケヲ除外シ
テ、ソレヲ十年トシテ居リマスカ
ラ、解説ト致シマシテハ、其ノ更
新モ矢張リ十年ト解釋サレナイデ
矢張リ借地法ノ一般ノ規定ガ働く
ヤウニ解释シ得ルノハナイカト
思ヒマス、立法論トシテハ初メ十
年デアリナガラ、今度二十年三十
年ト云フ風ナコトヲ認メルノハド
ウカト云フコトハ、是ハ色々ノ議
論ノ餘地モアラウト思ヒマスガ、
解釋上ハ大體借地法ガ権ツテ來ル
ト云フ解釋ニ入ルト考ヘマス、而
シテ假ニ十年ヲ經過シテ相當立派
ノ家屋ガ建ツテ居ルト云フ場合ニ
ノ規定ヲ當然被ル頭デ立案致シタ
ノデアリマス

○政府委員(奥野健一君) 是ヨリ
スカラシテ、若シサウ云フ風ニ解
釋上議論ガ岐ル、餘地ガアルナラ
ベ、ドチラニシタラ宜イカ私モ能
ク分リマセヌケレドモ、理論上ハ
矢張リ十年ノヤツガ、急ニ更新シ
タガ爲ニ三十年ニナリ二十年ニナ
ルト云フノハ理論上オカシイト私
ハ思ツテ居リマスガ、若シ立法上
之ヲ解決スルコトガ出來ルナラバ
ノ二年分ダケノ地代、借賃ニ付テ
先取特權ヲ認メタノヨリモ、廣ク
債權所有者或ハ貸貸人借地權ノ讓
渡ヲシナケレバナラナイコトニナ
リマスノデ、其ノ代價ノ意味デ全
部ノ借賃ノ全額或ハ借地讓渡ノ對
價全額ニ付テ先取特權ヲ認メタノ
デアリマシテ、借地法ノ所謂最後
ノ一年分ダケノ地代、借賃ニ付テ
先取特權ヲ認メタノヨリモ、廣ク
債權所有者或ハ貸貸人借地權ノ讓
渡人ヲ保護スル趣旨デ立案シタモ
十三條ノ規定ハ相排斥スルモノデ
ノデアリマシテ、第八條ガアルカ
ラト言ヒマシテ、此ノ借地法ノ第
三條ノ規定ハ相排斥スルモノデ
ノ範囲ニ於キマシテハ、此ノ要件
ノ借地法第十三條ノ最後ノ二年分
ト云フモノニ關スル先取特權ノ其
ハ「借地法第二條の規定にかかは
らず」ト云フ二條ダケヲ外シタコ
ガ各々備ツテ居ル場合ニ於テハ、
トニ依ツテ、解釋上ハ、更新ノ場
合ニハ矢張リ借地法ノ五條等ガ當

然被ツテ來ルコトハ、大體解釋上
ハ明白デアラウト云フ風ニ思ヒマ
シテ、斯ウ云フヤウニ致シタ次第
ビルト云フコトハ、チヨット更新
ソノモノノ性質カラモ言ヘナイノ
デヤナイカト云フ風ナ解釋ノ方法
モ付カヌコトモナイト思フノデス
サウナツテ來ルト、更新ノ性質力
ラ矢張リ二十年三十年ト云フ風ナ
存續期間ガ適用サレナイデ、是ハ
ダト解釋スル餘地モ茲ニ出テ來ル
ダラウト思フ、サウナツテ來ルト
解釋上非常ニ初メカラ疑ガアツテ
ドチラノ解釋ヲ採ルカト云フコト
ガ疑ガアル場合ニナル譯デアリマ
スカラシテ、若シサウ云フ風ニ解
釋上議論ガ岐ル、餘地ガアルナラ
ベ、ドチラニシタラ宜イカ私モ能
ク分リマセヌケレドモ、理論上ハ
矢張リ十年ノヤツガ、急ニ更新シ
タガ爲ニ三十年ニナリ二十年ニナ
ルト云フノハ理論上オカシイト私
ハ思ツテ居リマスガ、若シ立法上
之ヲ解決スルコトガ出來ルナラバ
ノ一年分ダケノ地代、借賃ニ付テ
先取特權ヲ認メタノヨリモ、廣ク
債權所有者或ハ貸貸人借地權ノ讓
渡ヲシナケレバナラナイコトニナ
リマスノデ、其ノ代價ノ意味デ全
部ノ借賃ノ全額或ハ借地讓渡ノ對
價全額ニ付テ先取特權ヲ認メタノ
デアリマシテ、借地法ト本法トノ
關係ニ付キマシテハソレ位ニシ
第八條ニ於キマシテハ、是ハ賃貸
人或ハ借地權ノ讓渡人ハ半強制的
ニ借地權ヲ設定セシメナケレバナ
ラナイコトニナリ、又借地權ノ讓
渡ヲシナケレバナラナイコトニナ
リマスノデ、其ノ代價ノ意味デ全
部ノ借賃ノ全額或ハ借地讓渡ノ對
價全額ニ付テ先取特權ヲ認メタノ
デアリマシテ、借地法ト本法トノ
關係ニ付キマシテハソレ位ニシ
第八條ニ於キマシテハ、是ハ賃貸
人或ハ借地權ノ讓渡人ハ半強制的
ニ借地權ヲ設定セシメナケレバナ
ラナイコトニナリ、又借地權ノ讓
渡ヲシナケレバナラナイコトニナ
リマス、デアリマスルカラ兩方ノ登
記ガアリマスル場合ニ於テハ少ナ
くタモ第十三條ノ規定スル最後ノ
二年分ノ地代、家賃ニ付テハ二重
ニ先取特權ノ規定ガ働くコトニ相
成リマス

○霜山精一君 ソレカラ本法ノ施
行ノ地區ト借地法ノ施行ノ地區ト
ノ間ニハ何カ關聯ガアルノデゴザ
イマセウカ、同一ニナルノデアリ
マスカ、此ノ本法施行ノ地區ト云
フノハ、本法ヲ適用スル地區ハ勅
令デ定メルト云フコトニナツテ居
リマスガ、此ノ地區ト借地法ノ地
區トノ間ニ廣狭ノ區別ガアルノデ
セウカ

○政府委員(奥野健一君) 此ノ舊
令即チ戰時罹災土地物件令ノ三條
ニ謂フ「命令ヲ以テ定ムル期間ヲ
是ガ復活シテ、其ノ働ヲ始メルノハ
本法デハ何時ニナル譯ナンデゴザ
イマスカ

○政府委員(奥野健一君) 此ノ舊
令即チ戰時罹災土地物件令ノ三條
ニ依ツテ、戰時罹災土地物件令ガ
行ニ依ツテ戰時罹災土地物件令ガ
廢止サレタ時カラ存續期間ノ進行

物件令ガ出来マシタ時ノ政府ノ説明ト致シマシテハ、材木置場トカサウ云フ「グレーン」ノアル岸壁ト云フヤウナ所ハ含ンデ居ナイト云フ御説明ダツタノデス、ソレハ矢張リ今ノ御説明ノ中技術的ニ政府ノ方デハ御解釋ニナツテ居ルノデス

第デアリマシテ、先程申上ゲマシ
タヤウニ、罹災土地物件令ノ尙存
續セシメテ置ク必要ノアル部分ダ
ケハ、先程申シマシタ條文ニ依ツ
テ存續セシメテ居ルノデアリマズ
ガ、ソレ以外ニ何等カノ措置ヲ講
ズルカドウカ、只今司法省トシ
ハチヨツト御答シ兼ネル次第デア
リマス

一ツノ建物ト同ジヤウニ取扱ハ
レルヤウナ状態デアリマスレバ、
矢張リ家賃トシテ、地代家賃統制
令ノ適用ヲ受ケルモノト考ヘマス
○竹下豊次君 是ハ方々デアルコ
トダラウト思ヒマスガ、私モ實例
ヲ知ツテ居リマスノデ御尋ネ致シ
マスガ、家賃ノ方ハ制限ガアリマ
シテ相當ニ今ノ處安イ借家料デ貸

クテ、又外ニ一ツ作ルガ、今ノ場
合ニ付テハナイノダト云フコトハ
チヨツト片手落ノヤウデアルト思
ヒマス、其ノ點ニ付テハ尙御研究
ヲ御願シタイト思ヒマス、今ノハ
御答辯ハ要リマセヌ、外ニマダ逐
條ニ入りマシテカラ御尋シタイコ
トガゴザイマスケレドモ、一般的の
ト質問ハ是デ終リマス

スル一應ノ権利關係ヲ調整スルコトヲ目的トシテ居ルノデアリマシテ、他面國家的見地カラ特別都市計畫法等ヲ設定シテ百年ノ計ヲ立てるコトハ勿論望マシイコトデアリマシテ、本法ニ於キマシテモソレ等トハ全然關係ガナイノデハナイノデアリマシテ、此ノ前ニモチヨツト御説明申上ゲマシタヤウニ

○政府委員(奥野健一君)此ノ物件令ニ依ツテ地方長官ガ公法上ノ使用權ヲ設定セシメラレタ場合ニハ、非常ニ廣ク其ノ用途ニ使用スル、即チ防空トカ生産トカ交通トカ其ノ他戰時緊急ノ用途ニ充ツル爲ニ、使用設定ヲ認メルコトニナツテ居リマスカラ、其ノ使用ニ使フカト云フコトハ相當廣イヤウニ心得テ居リマス

○竹下豊次君 サウスルト其ノ當時ノ會議ノ席ニ於ケル政府ノ説明トシテハ、今私ノ申上ゲマシタヤ、ウナ説明ヲ承ツテ居ツタノデアリマスガ、併シ此ノ問題ハ又考慮スルト云フコトデ、ソレキリニナツテ居ツタノデアリマス、或ハ其ノ取扱ニ付キマシテ、我々ニハ分ナルイケレドモ、役所内部デ指令デモサレテサウ云フ取扱ニナツテ居ルト、斯ウ云フ風ニ理解シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(奥野健一君)其ノ當時ノ政府委員ガドウ云フヤウニ御答辯致シタカ、實ハ引繼イデ居リマセヌノデスガ、尙其ノ點ハ復興院等ガ主トシテ關係致シテ居ル次

○竹下豊次君 尤モ私ノ意見ト致シマシテハ、サウ云フ場合ニモ今「クレーン」トカ、材木置場トカ云フコトヲ申シマシタガ、サウ云フ場合ニモ矢張リ保護スル規定定ガモ必要デアルト考ヘテ居リマスノデ斯ウ云フ質問ヲ致シタノデゴザイマス、ソレニ對シマシテ、先程法律案ノ附則ノ第三十三條ノ條文ニ付キマシテ、當分是デ保護シテ行クノダト云フ現在ノ政府ノ御解釈デアリマスレバ、私ノ希望ハ達セラレル譯デアリマスカラ、ソレガイケナイト申上ガル意味デハアリマセヌ、尙復興院ノ方トモ能ク御相談サレマシテハツキリシテ駁ケバ結構デアリマス、ソレカラニシテハ法律ノ條項ヲ引張り出セバ分ルコトデアリマスガ、甚ダ迂闊デマシテハ法律力何カ制限規定ガアリノデアリマスカ

シテ相當ニ今ノ處安イ借家料ニ貸シテ居リ、借家人ガ其ノ一室カ、二室カ、極ク一部分ヲ又貸シマシテ、其ノ又貸料ハ自分ノ拂ツテ居ル家賃ノ十倍モ取ツテ居ルノガアル、是ハ商店街ノ問題デアリマスケレドモ、サウ云フコトハ非常ニ何ノ爲ニ家賃ヲ法律迄設ケテ制限スルノカ、チヨツト疑問ニナルト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テハドウ云フコトニナルノデセウカ

○政府委員(奥野健一君) 或ハ非常ナ暴利デアレバ暴利取締令等ノ規定ガ適用サレルカト思ヒマス、尙地代家賃統制令モ全面的ニ近ク改定セラレルコトト思ハレマスノデ、サウ云フ點ハ十分考慮サレルコトト存ジテ居リマス

○竹下豊次君 暴利取締令デ取締ラレルト云フコトハ、是ハ當然ナコトダト存ジテ居リマスガ、暴利取締令ト云フコトダケノ説明デ行クナラバ、借家ノ問題ニ付テモ同じコトデアリアシテ、特別ニ上げテハイケナイト云フコトヲ暴利取締デヤルノダト云フコトデアツテ借家ノ方ニ付テハ暴利取締令デナ

○子爵大久保教尙君　此ノ法案ノ
権災者ノ保護ナド社會政策上甚ダ
結構ナ御案ダト存ジテ居リマスガ
又一方例ヘバ目下政府デ提案中ノ
特別都市計畫法案ト云フヤウナ
何ト申シマセウカ、大所高所ヨリ
觀タ法案トノ關係ハ、ソレハドウ
云フ風ニ御調整ニナツテ居ラレマ
セウカ、即チ此ノ法案ガ臨時處理
法ト云フ名ヲ見テモ、其ノ邊ノ事
情ガ多少窺ハレルヤウナ氣ガシマ
スガ、此ノ特別都市計畫法ノヤウ
ニ、罹災都市ノ百年ノ計ノ爲ニ、
所謂權原ノアル罹災者ノ利益ト云
フノモ或程度之ヲ抑制シテ行クヤ
ウニ存ゼラレマス、況シテヤ其ノ
土地所有者ナル者、借地權者ノヤ
ウナ場合ニハ尙更サウ云フ點ガア
ラウト存ジマス、ソレデ此ノヤウ
ナコトニ付テ例ヘバ、殊ニ具體的
ニ言ヘバ、地主ヤ借地權者ガ民法
上ノ今迄ノ規定ヨリ退歩シテ居ル
電ト云フヤウナ顯著ナ御心配ガア
レバ承リタイト思ヒマス

ヨツト御説明申上ゲマシタヤウニ
例ヘバ二條ノ第一項ノ但書等デ、
他ノ法令ニ依ツテ其ノ土地其ノ土
地ニ建築ヲスルコトニ付テ許可ガ
要ルト云フヤウナ場合ニハ、假令
罹災者ト雖ドモ是ハ借地權ノ設定
ト云フヤウナコトガ出來ナイコト
ニモナツテ居リマスシ、又九條等
ノ但書ニ依リマシテモ疎開跡地ニ
付テ尙公共團體ガ其ノ敷地、換地
ヲ自ラ使用シ、或ハ所有シテ居ル
ト云フ風ナコトニ依ツテ、社會公
共ノ爲ニ之ヲ利用シテ行カウト云
フ場合ハ、其ノ方ニ讓歩シテ行ク
ト云フ建前、此ノ建前ハ都市計畫
法、其ノ他ノ一般建築、市街地建
築物法トカ、サウ云ツタ國家計畫
等トハ何等矛盾シナイ限度ニ於テ
罹災者ヲ保護シテ行カウト云フ建
前ニナツテ居リマス

○竹下豊次君 サウスルト其ノ當時ノ會議ノ席ニ於ケル政府ノ説明トシテハ、今私ノ申上ゲマシタヤ、ウナ説明ヲ承ツテ居ツタノデアリマスガ、併シ此ノ問題ハ又考慮スルト云フコトデ、ソレキリニナツテ居ツタノデアリマス、或ハ其ノ取扱ニ付キマシテ、我々ニハ分ラナイケレドモ、役所内部デ指令デモサレテサウ云フ取扱ニナツテ居ルト、斯ウ云フ風ニ理解シテ宜シイノデアリマスカ

斯ウ云フ質問ヲ致シタノデ、ゴザイ
マス、ソレニ對シマシテ、先程法
律案ノ附則ノ第三十三條ノ條文ニ
付キマシテ、當分是デ保護シテ行
クノダト云フ現在ノ政府ノ御解釋
デアリマスレバ、私ノ希望ハ達セ
ラレル譯デアリマスカラ、ソレガ
イケナイト申上ゲル意味デハアリ
マセ又、尙復興院ノ方トモ能ク御
相談サレマシテハツキリシテ駁ケ
バ結構デアリマス、ソレカラ次ニ
是ハ法律ノ條項ヲ引張り出セバ分
ルコトデアリマスガ、甚ダ迂闊デ
存ジマセヌカラ其ノ儘御伺ヒ致シ
マスガ、賃間料ト云フモノニ付キ
マシテハ法律カ何カ制限規定ガア

○政府委員（奥野健一君）或ハ非
常ナ暴利デアレバ暴利取締令等ノ
規定ガ適用サレルカト思ヒマス、
尙地代家賃統制令モ全面的ニ近ク
改定セラレルコトト思ハレマスノ
デ、サウ云フ點ハ十分考慮サレル
コトト存ジテ居リマス

○竹下豊次君 暴利取締令デ取締
ラレルト云フコトハ、是ハ當然ナ
コトダツト存ジテ居リマスガ、暴利
取締令ト云フコトダケノ説明デ行
クナラバ、借家ノ問題ニ付テモ同

特別都市計畫法第12条第1項
何ト申シマセウカ、大所高所ヨリ
觀タ法案トノ關係ハ、ソレハドウ
云フ風ニ御調整ニナツテ居ラレマ
セウカ、即チ此ノ法案ガ臨時處理
法ト云フ名ヲ見テモ、其ノ邊ノ事
情ガ多少窺ハレルヤウナ氣ガシマ
スガ、此ノ特別都市計畫法ノヤウ
ニ、罹災都市ノ百年ノ計ノ爲ニ、
所謂權原ノアル罹災者ノ利益ト云
フノモ或程度之ヲ抑制シテ行クヤ
ウニ存ゼラレマス、況シテヤ其ノ
土地所有者ナル者、借地權者ノヤ
ウナ場合ニハ尙更サウ云フ點ガア
ラウト存ジマス、ソレデ此ノヤウ
ナコトニ付テ例ヘバ、殊ニ具體的
ニ言ヘバ、地主ヤ借地權者ガ民法
上ノ今迄ノ規定ヨリ退歩シテ居ル

ト云フヤウナコトガ出來ナイコト
ニモナツテ居リマスシ、又九條等
ノ但書ニ依リマシテモ疎開跡地ニ
付テ尙公共團體ガ其ノ敷地、換地
ヲ自ラ使用シ、或ハ所有シテ居ル
ト云フ風ナコトニ依ツテ、社會公
共ノ爲ニ之ヲ利用シテ行カウト云
フ場合ハ、其ノ方ニ讓歩シテ行ク
ト云フ建前、此ノ建前ハ都市計畫
法、其ノ他ノ一般建築、市街地建
築物法トカ、サウ云ツタ國家計畫
等トハ何等矛盾シナイ限度ニ於テ
罹災者ヲ保護シテ行カウト云フ建
前ニナツテ居リマス

○政府委員(奥野健一君) 貸間料
ト云フコトニ付テハナイト心得マスカ
スガ、ソレガ獨立的ニ使用サレテ

ジコトデアリマシテ、特別ニ上ゲ
テハイケナイト云フコトヲ暴利取
締デヤルノダト云フコトデアツテ
借家ノ方ニ付テハ暴利取締令デナ

電ト云フヤウナ顯著御心配ア
レバ承リタイト思ヒマス
○政府委員(奥野健一君) 仰セノ
ヤウニ此ノ法律案ハ罹災跡地ニ關

一般的ナ御質問ハゴザイマセヌ
別ニ御質問ガナドヤウデゴザイマ
スカラ是ヨリ逐條審議ニ入リマス
第一條カラ御願致シマス

○竹下義次君 御尋不致シマス
豫メ當局ノ御了承ヲ御願ヒ申上ゲ
テ置キタイノデゴザイマスガ、最
初ノ日ニ政府委員カラ、各條文ニ
付キマシテ可成リ細カイ御話ヲ承
リマシタノデ、能ク頭ニ入レテ置
カナケレバイケナカツタノデゴザ
イマスガ、少シ聽キ落シタノデア
リマスガ、量ガ多イノデ、一々記
憶シテ居ナイモノガアリマス、或
ハ重複シタリ、脱ケテ居ルヤウナ
モノモアリマセウガ、其ノ點御許
シヲ願ヒマス、ソレカラ私ノ是カ
ラ御尋不致シマスルコトハ、餘リ
手ヲ挾ンデ、是々ト云フコトヨリ
モ、寧ロ條文ニ使ツテアル文字、
其ノ他ノ意義ノ解釋ニ付テノ、御
尋ガ多イノデアリマス、從ツテ非
常ニ細カイコトニナリマス、實際
ノ問題トシマシテハ、細カイコト
ガ争ヒノ種ニナルト思ヒマスノデ
分ラナイ點ヲ御迷惑ト思ヒマス
ガ、細カイ點ヲ御尋ネ申上ダマス
ガ其ノ點ヲ御了承願ヒマス、此ノ
第一條ニ滅失ト云フ言葉ガ使ツテ
アリマスガ、滅失ト云フノハ、例
ヘバ「ビルディング」ナドデ、直
グニハ使ハレナイ、壊サレタ當時
ハ使ヘナイガ、チヨツト手ヲ入レ
レバ使ヘルト云フヤウナ物ガ、相
當ニ残ツテ居リマス、サウ云フノ
ハ滅失シタ部ニ入ルノデアリマセ
ウカ、入ラナイノデセウカ

ガ出来ル程度ノモノデアリマスレバ、減失ノ中ニ入ラナイト思ヒマス、倒壊シテシマツタヤウナモノハ減失ニ入リマスガ、修繕ニ依ツテ使用出来ルモノハ入ラナイト云フ風ニ解釋シテ居リマス

○竹下豊次君 ソレカラ此ノ法律ノ題目ニハ、借地借家ト云フ言葉ガ使ツテアリマスガ、第一條ニハ滅失シタル建物トシテ、借家ト云フ言葉ト書キ分ケテアリマスネ、是ハドウ云フコトニナリマセウカ

○政府委員(奥野健一君) 第一條ハ、唯是カラ二條以下ニ出テ來ル文字ノ、一應ノ定義ヲ致シタノデアリマシテ、借家ノコトハ第一條ノ一番終リニ、借家ト云フノハ云々ト云フ風ニ定義ヲ下シテ居リマシテ、此ノ罹災建物ト云フ場合ニハ、直チニ二條等ニ出テ來マス、ノ一罹災建物ト云フノハ、何ヲ言フカト云フコトノ定義ダケヲ第一條デ規定シテアリマシテ、別段色々ナサウ云フ深イ意味ガアル譯デハアリマセヌ

○竹下豊次君 借家以外ノ建物デ何カ關係ガアルコトガゴザイマセウカ、讀メバ分ルノデアリマスガ皆ナ借家ダケノ問題ナラバ、建物ト云フ言葉デ使ヒ分ケラスル必要ハナイヂヤナイカ、ト私ハ解釋シマスガ……

○政府委員(奥野健一君) 例ヘバ疎開建物ヲ、自分で持ツテ居ツタ

場合ニモ、第九條等ニ依ツテ、借地權ガモウナクナツテ居ルヤウナ場合ニ、更ニ借地權ヲ持チ得ルト云フ規定ガアリマスノデ、疎開建物ガ自分ノデアツテ、自分デ借家デナク、使用シテ居ツタヤウナ場合ニ、勿論サウナリマス

○作間耕邊君 私ハ此ノ法律ノ題名デアリマスガ、矢張リ臨時ト云フ字ヲ使ツテ、臨時處理法ト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ此ノ前、大正大震災ノ直後ニ出來マシタ、借地借家臨時處理法ノ例ニ從ハレタモノト思フ、處ガアノ借地借家臨時處理法ト云フモノハ、大震火災後二十有餘年ヲ經テ居ル今日、尙臨時處理法ハ其ノ儘生キテ居ル、餘リ臨時ニシテハ長過半ル、一體此ノ臨時ト云フノガ、臨時ニ非ザル原則ノモノハナンニ據ツタンデアルカ、借地法ノ原則、借家法ノ原則、之ヲ對象トシテ、臨時ト言ハレルノデアリマセウカ、其ノ臨時ヲ特ニ付セラレタ趣旨ト、臨時ニ對スル、臨時ニ非ザルモノハ現在アルノデスカ、將來現ハレテ來ルト云フコトニナルノデセウカ、之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(奥野健一君) 仰セノヤウニ、此ノ前メ借地借家臨時處理法ハ、臨時法トシテ或存續期間決メテ居ツタノデシタガ、段々

其ノ全部廢止スルニトガ出来ナク
ナツテ、ドン／＼延バシテ行キマ
シテ、現在尙昭和二十三年迄デア
リマスカ、存續スルコトニナツテ
居リマス、併シ現在之ニ關スル、
裁判所ニ係ツテ居ル事件等モ全然
アリマセヌノデ、此ノ法律ノ附則
ニ於キマシテ、此ノ前ノ臨時處理
法ヲ廢止致スコトニ致シタノデア
リマスガ、本法モ初ハ此ノ法律ハ
臨時法ト云フコトヲ明カニスル爲
ニ、何年間存續スルト云フ風ニヤ
ルコトニナツテ居リマシタガ、此
ノ前ノ先例ニ依リマシテ、後カラ
又ソレヲ延バサナケレバナラナイ
ト云フコトデアツテハ、殆ドソレ
ハ初ニ嘘ヲ掲ゲルヤウナコトニナ
ルノデ、不必要ナラバ是ハ廢止ス
ルト云フコトニシテ置イテ、處理
法デハ何年間此ノ法律ガ效力ヲ持
ツノダト云フコトハ、表面ハ規定
シナイコトニ致シマシテ、將來是
ガ必要ガナクナツタ時機ニ於キマ
シテハ、之ヲ廢止スルト云フ意味
デ、臨時法デアルト云フ風ニ考ヘ
テ居リマス

タノダト云フ御趣旨ト承ツテ居リ
ノ當事者デアル、其ノ権利關係ヲ
ガ、實際ハ前ニモチヨツト御質問
ガ出タト思ヒマスガ、借主ハモウ
マスガ、又ソレハ分ツテ居リマス
ガ、荷物ヲ引揚ゲ、サウシテ涼シイ顔
ヲシテ避難ヲシテ居ル、出入ノ者
ガ留守番ニ頼マレテ、サウシテ戰
時中色々防備警戒ニ任ジテ、遂ニ
力及バズシテ自分ノ家具家財ト共
ニ建物ヲ焼失シタノデアリマス、
中ニハ怪我迄シタ者モアル、斯ウ
云フ場合ニ於ハテ國民、國家トシ
テ同情スペキハ法律上ノ借主其ノ
モノニアラズシテ、實際戰災當時
其處ニ居住シテ居タ、サウシテ防
護ニ任ジ大イニ罹災等ニ市民トシ
テ活躍シタ、斯ウ云フ者ヲ無視ス
ル譯ニ行カナイノデアリマス、而
モ其ノ者ハ不法占據者デナイ、正
當ナル借主ノ爲ニ其處ニ來テ居ル
ノダカラ、矢張リ司法當局ハ借主
一本デ行カレル積リデアリマセウカ
カ、サウ云フ場合ノ居住者ヲモ認
メラレル御意嚮ハナイデセウカ
○政府委員(奥野健一君) 勿論居
住者ハ最モ第一位ニ之ヲ保護シナ
ケレバナラナイト存ジマシテ、其
ノ居住者ハ戰時罹災土地物件令ノ
第四條ニ依リマシテ、居住シテ居
ル者ハ其ノ敷地ヲ自ラ使用スルコ

トガ出來ルコトニナツテ居リマス
其ノ關係ヲ本令ノ附則ニ於キマシ
テ第二十九條ト第三十二條デアリ
マスガ、一應此ノ居住者ハ二十九
條ニ依ツテ其ノ儘ノ狀態ヲ一年間
保障シテ居リマス、而シテ其ノ保
障サレタ一年間ノ間ニ於テ第三十
二條ニ依リマシテ、此ノ一番初ノ
二條以下ヲ準用スルコトニ依ツテ
借地權ノ設定ヲ得ルコトガ出來ル
途ヲ拓イテ居ルノデアリマシテ、
斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、其ノ
建物ヲ居住者ヲ最モ厚ク保護シテ
居ル建前ニナツテ居リマス、寧ロ
此ノ二條ハ借主ト言ツテ居リマス
ガ、居住者ハ第三十二條ニ依ツテ
其ノ上ノ保護ヲ受ケテ居ル建前ニ
ナツテ居リマス

マス、而シテ本案ノ二十九條ニ依リマシテハ、ソレ等ノモノ全部ニ付テ保障ヲ與ヘ、三十二條ニ依テ此ノ二條以下ガ津用サレルコトニナリマス關係上、要スルニ居住者ノミナラズ、居住者ガ使ハナイガアリマスガ、居住者ニ先づ第一ニ保護ヲ與ヘテ居ルト云フ關係ニナツテ居リマス

○作間耕逸君 ソレカラ第二條ノ第三項「デスカ、「建物所有ノ目的で自ら使用することを必要とする場合」、此ノ「自ら使用することを必要とする場合」ト云フコトガ、實際上色々問題ニナリガチナ場合ニアリマス、例へバ土地ノ所有者ガ、今自分ハ建テツ、アルシ建テル用御ヲシテ居ルノダ、併シナガラナカヽ資材ガ間ニ合ハナイ、大工ナンカヲ傭ヒ込メナイ、殊ニ資材ガ間ニ合ヒ大工ナンカヲ傭ヒ込ムコトガ出來テモ、今日ノ暴騰シタ時代ニ私ハ建テタクナイ、モウ少シ安クナツタ將來ニ於テ建テタイ、ダガ兎ニ角建テルコトハ建テルノダ、故ニ御貸シスルテ、慌テ建物ヲ建テナイ、イツコトハ出來ナイ、斯ウ云フヤウニモ其ノ土地ハ放任サレテ居ル、地主ハ全ク自分ノ自由意思カラヌテ、慌テ建物ヲ建テナイ、イツガ出來ナイ、全體カラ見レバ非常復興ガ遲レル、斯ウ云フ場合ガ

依地ノ上於ノ事務者、貿易の如き、其の根拠ハ何處ニ在リマセウカ、ソレヲ伺ヒヨイト思ヒマス。○政府委員(奥野健一君)此「自ら使用することを必要とする場合その他正當な事由」ト云フ。法ハ、御承知ノヤウニ現在ノ借地法或ハ借地法等ニ於テモ規定シ居ルノデアリマスガ、本案ニ於テマシテハ更ニ「自ら使用することを必要とする」ト云フダケデハク、「建物所有の目的で自ら使用することを必要とする」ト云フ風制限ヲ加ヘテ規定致シタノデアリマス、結局建物所有ノ目的デ自ら使用スルコトヲ必要トスルト云ノガ一ツノ正當ナ事由ノ代表的モノトシテ之ニ掲ゲタノデアリシテ、單ニ自分が使ヒタイト云ダケノ意思ヲ持ツテ居ルト云フ度デハ足リナイノデ、ソレヲ自使用スルコトヲ必要トスルト云事情ガアツテ、ソレガ一ツノ正當ナ事由ノ現レトシテ、サウ云フノ分デ使ハナケレバナラナイノダム、云フ必要ノアルコトヲ明カニシケレバイケナイノデアリマスガ、若シ之ヲ拒ンデ争ヒニナツタ場ニ於テハ、第十五條以下ノ規定依ツテ裁判所ガ、從前ヨリノ借地ノ關係トカ土地トカ建物ノ狀況ノ他一切ノ事情ヲ斟酌シテ之ヲ

メル、具體的ナ場合ハサウ云フ
トニナツテ參ルト思ヒマス
○作間耕逸君　只今ノ政府委員
御説明ハ、正當ノ事由トナル使
ノ目的カラ仰セラレタ、ソレハ
ク分リマシタガ、私ガ申上ゲル
ハ主トシテ使用ノ時期デス、所
者ガ、自分ハ家ガ全ク焼ケタ、
田舎ヘ一時引キ移ツテ居ルガ、
ノ家ヲ借リテ居ル位ダカラ、此
敷地ニ家ヲ建テテ歸ツテ來ル、
ハモウ事實デアツテ、誰モ之ヲ
メナケレバナラヌ、併シ何時歸
テ來ルヤラ、十年後ニ歸ツテ來
ヤラ、二十年後ニ歸ツテ來ルヤ
ラ、或ハ二、三年後ニ歸ツテ來ルヤ
シテ國ツタンデスガ……
○國務大臣(木村萬太郎君)　サ
云フ場合ニハ客觀的妥當性ヲ以
諸般ノ事情ヲ考慮シタ上ニ、ソ
ガ果シテ妥當デアルカ、妥當デ
イカト云フコトカラ考慮シテ、
判所デ決メルベキ問題ト考へマ
ソレカラ今御説ノヤウナ場合ハ
ラク正當ナ事由ノ中ニハ入ラナ
ト思ヒマス

ハ能ク御承知ノ通リデアリマス、
建物ヲ建テヨウト思ツテモ有ラユ
ル隘路ガアツテ急速ニ建物ヲ建テ
ルコトガ出来ナイ現状ニアルデス
カラ、本當ニ建物ヲ建テタイト所
有者ガ思ツテ居ルケレドモ、四圍
ノ事情デドウモ手ノ下シヤウガナ
イ、斯ウ云フ状況ノ下ニ於テハ二
年ヤ三年建テラレナイカラト云ツ
テ、是ハドウモ正當ノ事由ガナイン
ダト云フ風ニ判断サレルト、所
有者トシテハ非常ニ迷惑ニナルノ
ヂヤナイカト思ハレルノデスガ：
此ノ諸般ノ經濟上ノ事情ヲ考慮
シテ、矢張リ本當ニ建テル意思ガ
所有者ニアルト云フ風ニ見フレル
場合ニハ、矢張リ正當ノ事由ハア
ルト見ルノガ、客觀的ニ妥當性ガ
アルノヂヤナイカト云フ風ニ私ハ
思フノデアリマス、如何デスカ
○國務大臣(木村篤太郎君) 無論
サウデマリマス、ソレハ徒ニ建テ
ルコトヲ制限スルノヂヤナクテ、
建テタクテモ現實ノ問題トシテ諸
般ノ情勢カラ建テ得ナイト云フ場
合ニハ、無論正當ナ事由ノ中ニ入
ルト云フコトハ勿論ノコトデアリ
マス、今私ガ申上ゲタノハ所謂客
觀的妥當性ガアリヤ否ヤト云フコ
トノ觀點カラ、之ヲ解決シテ行カ
ナクチヤナラスト斯ウ考ヘテ居リ
マス、今政府委員カラ申上ゲマシ
タヤウニ唯建テルト云フコトデナ
シニ、自分ガソレヲ使用スル現實
ノ必要ガアルカ否カ、ソレガ一ツ

ノ要件ニナツテ居リマス、ソコニ
重點ヲ置イテ居ルノデアリマス、
ドウシテモ自分ハ外ニ住ムベキ家
ガナイ、建テナクチヤ住メナイン
ダト云フヤウナ現實ノ必要ニ迫ラ
レタ場合以外デス、唯建テ人ニ
貸スト云フヤウナ目的デハイカ又
ノダト云フは趣旨デアリマス
○委員長(子爵高木正得君) 外ニ
御質問ゴザイマセヌカ
○糸山精一君 第二條ノ末項ニ第
三者ニ對抗スルコトノ出來ナイ借
地權ハ第一項ノ適用ニ付テハ之ヲ
規定ガアリマスガ、對抗スルコト
ノ出來ナイ借地權ト云フノハ例ヘ
ベドウ云フモノヲ指シテ居ラレル
ノデゴザイマセウカ
○政府委員(奥野健一君) 實ハ此
ノ規定ハチヨツト變ニ御感ジニナ
ルカト思ヒマスガ、唯此ノ末項ノ
趣旨ハ、借地權ガアレバ借地權ヲ
譲受ケルト云フ第三條ノ方デ行ク
借地權ガ其ノ實ナイ場合ニ於テハ
地主ニ借地權ノ設定ヲ求メルト云
フ第二條デ行クト云フ意味デ、二
條ノ場合カ三條ノ場合カヲ決メル
場合ニ、借地權ハアルガ建物ノ登
記モ借地權ノ登記モナイカラ、サ
ウ云フモノハ借地權ノナイモノト
シテ取扱ツテ、第二條デ借地權ノ
設定ヲ受ケル處迄行クノデ、若シ
第三者ニ對抗シ得ル借地權ガアレ
バ、第三條デ其ノ借地權ヲ譲受ケ
ル方デ行クノダ、ドチラニ適用セ

○霜山精一君 例へバ或土地ヲ借受ケテ借地權ヲ設定シテ建物ヲ建テ行ク、處ガ其ノ借地權ニ付ハ登記モシテナイ、又建物ソノモノニ付テモ建物ノ登記ガシテナカツタ、斯ウ云ふ場合ニハ第三者ニ對抗ノ出來ナイ借地權デアルト云フコトハ間違ヒナイ、併シナガラ土地所有者ト借地人トノ關係ニ於テハ立派ナ借地權デアルコトニハ是ハ間違ヒナイ、處ガ其ノ建物ガ罹災滅失シタ、其處ニ其ノ建物ニ居住シテ居ツタ者ガ其ノ借地權ヲ承繼スルカドウカト云フ問題ニナル譯デスカラシテ、其ノ建物ニ居住シテ居ツタ者ハ、建物ノ借主ト云フモノハ、別ニ其ノ所謂對抗問題ニ關係ノアル第三者ヂヤナイ譯ナノデスネ、第三者ニ對抗スルコトヲ得ズト云フ其ノ第三者ト云フモノハ決ツテ居ルノデスネ、建物ヲ借りテ居ル人ハ第三者ニ該當シナイ譯ナノデス、デスカラ其ノ借地權ヲナインダドト見ルト云フコトハ少シクヲカシナ話デアツチ、當事者間ニハ土地所有者ト借地人トノ間ニハ、立派ナ借地權ガアル譯デスカラ、其ノ前ノ立派ニ成立シテ居ル所ノ賃貸借ヲ承繼スルノガ法則デアツチ、ソレヲナインモノト見ルト云フノハドウモ私ノ了解スルコトノ出來ナイ所デ、ソレヲ第

○政府委員(奥野健一君) 質問ノ場合ニ於キマシテハ、是ハ罹災土地物件令デ、サウ云フ家屋ガ滅失シタ場合ニ於テハ、登記ガナクテモ第三者ニ對抗シ得ルト云フコトニナツテ居リマスルシ、本令ノ第十條ニ於キマシテモ、今後尙五年間第三者ニ對抗シ得ル、登記ガナクテモ對抗シ得ルト云フ致シテ居リマスカラ、御質問ノ場合ニ於テハ借地權ガアルモノトシテ第三條ノ適用ガアルト云フコトデアリマス

○霜山精一君 今ノ御説明ニ依リマスト、第三者ニ對抗スルコトノ出來ナイ借地權ト云フノハドウ云フ借地權デアルカト云フコトガ殆ド分ラナイコトニナルノデヤナインデセウカ

○政府委員(奥野健一君) 本法ヲ必ズシモ此ノ罹災地全部ニ適用トコトニ於キマスカ、罹災シタ敷地ノ場合ニ於キマシテハ只今申シマシタヤウニ、第十條ナリ罹災土地物件令ト云フモノニ依ツテ、登記ガナクテモ對抗ガ出来ルノデアリマスカラソレ以外ノ土地ニ付テハサウ云フコトモ考へ得ルノデアリマスシ、ソレカラ本法施行前ニ新ブシク借地權ヲ設定シテ居ルト云フヤウナ場合ニ、借地權者ガ二條ニ依ツテ

借地權ノ設定ヲ求メル前ニ、地主トノ間ニ借地權ヲ設定シタガ、マダ登記等ヲシテ居ナイト云フヤウナ場合モ考ヘラレルノデアリマスノデ、サウ云フヤウナ場合ニ果シテヤント借地權ガアルカドウカト云フコトニナリマストデ、此ノ紛ハシイト言ヒマスカ、何等ノ登記モ或ハ手續ノ登記モナイ、唯地主トノ關係デ借地ノ口約束等ヲシタモノガ若シ假ニアツタト云フヤウナ場合ニ、ソレヲ探しテ其ノ借地權ノ讓受ヲ受ケナケレバナラナイトイタコトニ致シマスコトハ、借主ニ非常ニ何處ヘ持ツテ行ツテ宜イカ不明確ナ場合ガアリマスノデ、ハツキリ第三者ニ對抗出來ル借地權ガナケレバ、借地權ガナイモノトシテ借地權ノ設定ヲ受ケ、サウ云フ風ナ借地權ガハツキリアル所謂第三者ニ對抗シ得ル借地權ヲ持ツテ居ル場合ニハ、第三條デソレヲ讓受ケルト云フ方法デ行カウト云フ風ニ致シタノデアリマス

ハ普通ノ第三者ニ對抗ノ出來ナイ物、借地權ナシダケレドモ、土地物件令ニ依ツテ對抗ガ出來得ルヤウナル、サウスルト、ソレヲ其ノ建物ノ借主ガ今度借地權ヲ得タイトル時ニハ、詰リ其ノ前ノ所謂對云フ時ニハ、詰リ其ノ前ノ所謂對抗ノ出來ナカツタ借地權ヲ讓受ケル、斯ウ云フ風ニ承知シテ宜シウル、**ガイマスカ**

○政府委員(奥野健一君) 其ノ場合ニハ所謂罹災土地物件令ノ第六條ニ依リマシテ、サウ云フ借地權者ハ「其ノ登記及當該土地ノ上ニ存スル建物ノ登記ナキモ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得」ト云フ規定ニ依ル其ノ借地權ヲ讓受ヲ第三條ニ依ツテ讓受ケルコトニナリマス

○霜山精一君 サウスルト、此ノ第二條ノ末項ニアル第三者ニ對抗スルコトノ出來ナイ借地權ト云フ文字ハ非常ニ今ノ御説明ニ依リマシテ土地物件令ヲ對照シテ多少刹メテ分ルコトニナルノデアリマスガ、若シ何デシタラ此處デ括弧デモノ入レテ此ノ土地物件令ニ依ツテ對抗ノ出来ルモノハ之ニ入ルノヂヤナイカト云フ風ナ疑問ガ起ルノデスガ、若シコトヲ明カニシナイト、是ダケデモ入レテ讀ムト、普通ノ民法ノ觀念デ讀ムデシマフ、非常ニ不明確ニナルダラウト思フ

御尤モデアリマスルガ是モ先程ト
同ジヤウニ、物件令ト對照シテ讀
メバ、是ハ登記ガナクテモ對抗ガ
出來ルト云フコトニナツテ居リマ
スルカラ此處ニ對抗出來ナイト云
フ字ガ入ラヌコトハ解釋上明カダ
ト考ヘタノデアリマスガ、是モ先
程ト同ジヤウニ素人ニハチヨツト
分リ兼ネルノヂヤナイカト云フ御
叱リヲ受ケルカト思ヒマスガ、マ
ア法律的ニ言ヒマスト、明カデハ
ナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス
○羅山精一君 土地物件令ハ本法
ニ依ツテ廢止セラレルノデスカラ
廢止セラレルト同時ニ、此ノ第六
條ノ規定モ廢止ニナツテ對抗力ヲ
失フノヂヤナイデセウカ

○政府委員(奥野健一君) ソレハ
更ニ本令ノ第十條ニ依ツテ其ノ關
係ヲ受權イデ行クコトニナツテ居
リマス

○羅山精一君 此ノ十條ハ昭和二
十一年七月一日カラ五箇年内ニ土
地ニ付テ権利ヲ取得シタ第三者ニ
對抗ガ出來ルト云フコトニナツテ
居ルヤウニアルノデスガ、ソレ以
外ノ第三者ニハ矢張リ此ノ借地權
ハ對抗出來ナイノデセウカ

○政府委員(奥野健一君) 其ノ以
前ノモノニ付キマシテハ、モウ既
ニ先程モ羅災土地物件令ノ第六條
デ對抗シ得タモノト致シマシテ既
ニ對抗シ得タ效力ハ當然殘ル積リ
デアリマス

○羅山精一君 此ノ本法ノ施行ハ

何時ニナルカ知リマセヌガ、七月
一日ニ施行タルト云フ譯ナンデス
○政府委員(奥野健一君) サウデ
トニナリマスカラ、本法施行迄ノ
云フノデ、七月一日カラ終期ハ餘
ノデ、五年以内ノ権利ヲ取得シタ
者ニ對抗出來ルト云フ風ニ致シタ
ノデアリマス

○竹下豊次君 第二條ノ換地ト云
フ言葉ガアリマスガ、是ハ何カ現
行法令ニ使ツテアル法律語デゴザ
イマセウカ

○政府委員(奥野健一君) 是ハ此
ノ市都市計畫法ニ依ツテ、殊ニ特
別都市計畫法ニ依ツテ換地處分ノ
アツタ場合ノ換地ヲ意味スルノデ
アリマシテ、是ハ現在ノ借地借家
計畫ヲシツカリ立テマシテ、取上げ
テ、其ノ換地ヲヤルト、云フコト
ニナリマスガ、今度ノ災害ノヤウ
ナ場合ハ、マダ計畫ト云フモノノ
能ク立タナイ、サウシテ一應預ツ
タ形デ、元ノ土地ヲ其ノ儘ニ返ス
ト、ソレハ此ノ換地デヤナイ譯デ
スネ

○竹下豊次君 普通ノ場合ニハ計
謂乙ノ土地ガ、茲ニ謂フ換地ト云
フコトニナルノデアリマス

○作間耕造君 大藏省ノ政府委員
ニ申上ゲマス、今私共ガ審譯致シ
テ居リマスル法律案ハ、御承知ノ
通リ羅災都市借地家臨時處理法デ
アリマスガ、國民生活對スル政策
ノ上カラ云ヘバ、住宅難打開ノ一
ツノ施設的法律ニナルノデアリマ
ス、ソコデ其ノ住宅難打開ノ方策
ニ付テ御伺ヒ致シタイノハ、此ノ
處置ヲ執ラナケレバナラス、豫メ
之ヲ届出ラシテ、ソレカラ今度賣
買ガ済ング後ニ、其ノ通り確カニ
實行致シマシタト各關係方面、即
チ銀行或ハ公債ノ求メ先、郵便局
ノ證明ヲ取ツテ今度ハソレヲ此ノ

○竹下豊次君 今御尋シタ場合モ

マセヌ、賣買デアリマスカラ殖エ

ス

マセヌケレドモ、大都市ニ於テ家

ガ不用ニナツタ人ハソレヲ賣拂ツ

テ、サウシテ其ノ金デ郷里ニデモ

ト同ジヤウナ規定方適用サレマシ

テ、此ノ區劃整理ノ區域内ニアル

此ノ土地ハ外ヘヤツテ、其ノ代リ

トシテコチラノ土地ヲ、其ノ土地

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換地トハ、

同ジモノト見ルコトニナツテ居リ

マス、デスカラ區劃整理ノ結果、

甲ノ土地ヲ取上グテ乙ノ土地ヲ其

ノ代リニ入レルト云フコトニナル

ノデアリマシテ、其ノ場合ニハ所

地ヲ其ノ儘ニ返シタヤウナ、其ノ

トシテ御諸リ致シマスガ、時刻モ大

リ長クテモ取引ノ安全ヲ害シマス

ト同様ニ、其ノ代リニ入レルト云

フ手續ヲ、區劃整理ニ依ツテヤル

コトニナツテ居リマスガ、其ノ場

合ニハ前ノ土地ト所謂換

イ、スルト云フト、賣ツテモ全ク現金ヲ一文モ手ニスルコトガ出來ナイ、ソレハ資金調整令ニ規定ガアルノデアリマスガ、資金調整令ガ出マシタ當時ハ、現在ノヤウニ預貯金ノ封鎖、即チ金融緊急措置令ニ依ルアノ扱ヒガナカツタカラ「インフレ」阻止ノ上カラ云ツテモ、家屋ハ賣買シテモ現金ハ一文モ受授スルコトガ出来ナイト云フ必要ハアツタデアリマセウケレドモ、現在ニ於テハモウ預貯金ハ緊急措置令ニ依ツテ封鎖サレマシタ現金ハ五百圓生活ノ範圍内ニ於テ單ニ生活資金トシテノミ拂戻ヲ受ケルコトニナツタノデアリマスカラ、モウ家屋ノ賣買代金ニ對スルアノ現金制限ノ措置ト云フモノハ必要ガナクナツタカラ、解消セラレテ宜イノデハナイカ、サウシテ成ルベク家屋ノ賣買ヲ、必要ノナイ者カラ必要ノアル者ニ圓滑ニスルヤウニサシテ、サウシテ其ノ代金ハ専ラ金融措置令デ處理セラレテ宜イノデハアリマスマイカ、サウスレバ、ソレハ消極的デハアリマスルケレドモ、矢張リ住宅緩和ノ確ニ一ツノ方法ニ相成ルト信ジマスルガ、其ノ點ニ對シテ政府ノ御見解ナリ御方針ヲ伺ヒタ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

ヲ採ルヤウニ、確カ昭和十八年八月ノ金融調整令ニ依ツテ定メラレタト記憶致シテ居リマス、其ノ結果、是ハ主トシテ大口資金ヲ郵便局其ノ他ニ預入セシメマシテ「イシフレーション」ヲ防止スルト云フ方途ニ出デタノデアリマシテ、其ノ結果相當ノ效果ヲ擧ゲタヤウニ思ハレマス、併シナガラ過般ノ預金封鎖以來ノ總ノ取引ガ封鎖預金ニ依ツテ爲サレルコトニナツテ参リマシタノデ、極ク少イ場合ノ、現金ノ取引デアリマス、而モ昨買ヲスル場合ノ外ハ、先程申サレタヤウナ措置ヲ採ル必要ガナクナテ少イコトニナツテ居リマスカラシテ、實際上カラ申シマスト、ツテ參ツタノデアリマス、而モ昨今ハ現金ノ取引ト云フモノハ極メ取引ノ措置ト云フモノハ、事實ニ於テハ積極的ニ行ハレテ居ナイ状態デアリマス、出來ルダケ他ノ經濟措置ト考ヘ合セマシテ、早イ機会ニ於テ斯ウ云フモノハナクスルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス○作間耕造君 能ク分リマシタ、唯御答辯ノ中、大口ノ賣買ト仰セラレマシタガ、是亦御答辯ニ相成ツタ通り、三千圓以上ハ皆サウナンデ、今日ノ通貨ノ價值カラ申シ額デアリマスカラ、賣買ノ大部分ガ殆ドソレニ該當スルノデ、今日

デハ三千圓デ家屋ノ賣買方出來ル
員モ能ク御承知デアラウト思ヒマ
ス、今一ツ、現金ノ賣買ガナクナ
ツテ居ル筈デアルカラト仰セラレ
マシタガ、是ハ案外、家屋ノ賣買
等必要ニ迫ラレテヤル場合ニハ現
金取引ガ行ハレルノデアリマシ
テ、私共ガ不可解ニ存ズル位現金
ガサウ云フ方面ニハ使用サレルノ
デアリマス、デスカラ、矢張リ是
ハ只今仰セラレタ如ク、一般ノ預
貯金封鎖ノ例ニ依ツテ封鎖ナサル
コトハ「インフレ」阻止ノ上カラ無
論必要デアリマセウ、サウシテ唯
封鎖預貯金カラ生活資金ノ現金ヲ
引出スアノ一般ノ金融措置令ニ從
ヘバソレデ宜シイノデアリマス
ガ、アノ報告、届出、殊ニ實行ノ
證明、アア云フモノハ速カニ撤廢
ヲシテ戴キタイ、政府委員ノ御答
辯モ其ノ趣旨ニ拜承致シマシタカ
ラ、其ノ實現ガ成ルベク速カナラ
ムコトヲ希望致シマシテ、私ハ政
府委員ノ御答辯ヲ満足ヲ以テ拜承
致シマシタ

ハナイト云フコトニナツチ居ルニ
拘ラズ、色々見舞金ノヤウナテノ
ヲ出サセテ、サウシテソレヲ以テ
復興ノ一助ニシタト云フヤウナ先
例モアルノデスガ、今度ハ戦災保
险ト云フモノデアリマシテ、戦災
ニ依ルモノハ保険金ヲ拂ハナケレ
バナラヌト云フコトニナツチ居ル
ノデアリマスルカラ、此ノ保険金
ト云フモノハ、物ニ代ハルモノナ
ンデス、物ハナクナツタケレドモ
金ガココニ浮イテ來タ、即チ建物
ガ金ニ代ツテ居ル譯ナンデス、デ
アリマスカラ、建物ヲ復興スルニ
ハ、此ノ金ヲ生カス外ニハナイ譯
デアリマス、金ガアレバ此ノ建物
ガ、家ノ代リノ金デスカラ、金デ
以テ建物ヲ復興シ得ル譯アリマ
ス、處方、此ノ保険金ニ付テハ封
鎖預金ト云フモノニ、封鎖預金
デヤナイ、特殊預金ト云フモノニ
ナリマシテ、殆ド其ノ大部分ヲ支
拂ハレナイ、斯ウ云フ情勢ニナツ
テ居ルモノデスカラシテ、都市ノ
復興ヲ非常ニ政府トシテハ希望セ
ラレテ居ルニ拘ラズ、保険金ノ方
ヲ押ヘテ之ヲ復興シロト云フコト
ハ、實ニ難キヲ責メルコトニ私ハ
ナルト思ヒマス、ダカラ此ノ點ハ
ドウシテモ或一定ノ限度ニ於テ、
此ノ特殊預金ト云フモノヲ解除シ
ナケレバ、本當ニ復興ト云フコト
ハ出來ナインヂヤナイカ、其ノ點
ニ「インフレ」対策ト復興ト云フモ
ノトノ間ニ非常ニ困難ナ問題ガア

カト云フコトハマダ發表スル時
期ニ達シテ居リマセヌ、其ノ點ヲ
御了承ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマ
ス

○霜山精一君 保険ノ問題ハ只今
ノ御説明デ能ク了承致シマシタ、
是ハ矢張リ住宅問題トシテ急遽ナ
解決ヲ要スルノデアリマスガ、外
ノ點ニモ色々御關係ガアルト思ヒ
マスケレドモ、住宅問題ノ解決ヲ
急グト云フ點カラ、急速ニ是ハ解
決ヲシナケレバナラメ問題デハナ
イカト私ハ思ヒマス、ソレカラ譯デス
ウ一點戦災ヲ受ケタ者ガ家ヲ建テ
ルニ付テ矢張リ金ヲ要スル譯デス
ガ、其ノ金ガ一面ニ於テハ緊急措
置令ニ依ツテ封鎖サレテ居ル、建
物ヲ建テルガ爲ニ極メテ僅カノ限
度ニ於テ出セルコトニハナツテ居
リマスケレドモ、今日ノ建物ヲ建
テルニ付テ必要トスル金額ハ一萬
圓位デハ實際ノ處ハ何モ建タナイ
ノデス、此ノ限度ヲ相當擴張シテ
戴カナイト、矢張リ建物ノ復興ト
云フコトハ出來ナイノデハナイカ
ト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、其ノ點ニ付テ政府ノ御所見
ヲツシヒタイト思ヒマス

○政府委員(上塚司君) 其ノ點ニ
付キマシテモ、最近三千圓カラ一
萬圓ニ引上げタヤウナ次第ゴザ
イマス、尙最近ノ經濟狀態、建築
界ノ狀態等カラ見マスルト、非常
ニ上ツテ居リマス、是ハ何レ經濟
對策ガ決マリマシタ後ニサウ云フ

事情モ勘案致シマシテ何等カノ處
理ニ出ヅルヤウニ致シタイト思ヒ
マス

○霜山精一君 私ノ質問ハソレダ
ケデゴザイマス

○作間耕逸君 只今ノ霜山サンノ
質問ニ關聯シテチヨツトニ
ゴザイマス

○作間耕逸君 只今家屋ノ建築ニ
付テノ代金引出ノ方法ニ付テハ政
府當局ニ於テモ考慮スル、サウシ
テ他ノ經濟財政ノ問題ノ決裁アツ
タ後ニソレヲ具現スルカモ知レナ
イト云フ御答辯ノ御趣旨ハ能ク分
りマシタガ、賣買代金ハアレニ含
ンデ居リマセヌデスナ、建築修繕
トアリマシタガ、賣買ニ付テハア
ノ規定ニ全ク入ツテ居ナイ、是ガ
實際ニ於テ非常ニ不便ナンデス、
寧ロ今日ハ建築ヨリモ賣買ニ依ツ
テ間ニ合ハス方面が多イ、賣買ヲ
出來ルダケ圓滑ニシテ戴カナケレ
バナラヌト云フヤウナコトハ先程
申上ガマシタヤウナ事情デアリマ
スカラ、只今金額擴大ヲ御考慮ニ
ナル時ニ、建築修繕ノ外ニ賣買モ
ソレト同様ニ一ツ御考慮ヲ願ヒタ
イト思フノデアリマス、現在ハ賣
買ガ除外サレテ居ルヤウデス、確
カサウ記憶シテ居リマスガ、

○政府委員(上塚司君) 御答ヘ致
シマス、大藏省告示、昭和二十一
年二月十七日ノ告示第二十七號ヲ
以チマシテ、其ノ第四項ニ戰災者
對策ガ決マリマシタ後ニサウ云フ

ノ建物、疎開ヲ命ゼラレタルモノ
ハ修繕ノ爲ニ必要ナル金額、此ノ
點ニ付キマシテハ賣買ト云フコト
又ハ建築又ハ修繕ノ爲ニ必要ナル
金額、此分ハ許サレテ居リマス、賣
購入ダケハ許サレテ居リマス、賣
渡ト云フ…

○作間耕逸君 購入デ宜イノデア
リマスガ、ソレガ購入者ノ資格ガ
外國カラ復歸シタル者、ソレカラ
何デスカ…

○政府委員(上塚司君) 戰災者、
建物疎開ヲ命ゼラレタルモノ、又
ハ昭和二十二年二月一日以後外國
又ハ大藏大臣ノ指定スル地域ヨリ
居リマス

○作間耕逸君 戰災者ニ限ルノデ
スナ、一般的デハナイデスネ

○政府委員(上塚司君) 一般デハ
アリマセヌ

○委員長(子爵高木正得君) 大藏
省關係ノ質問ハ是デ…

○原泰一君 先程ノ保險金ノ全文
ニ付キマシテ適當ナ機會ニ御發表
ナインデアリマスガ、大體少クト
モ三十萬圓、多ケレバ百萬圓近イ
金ガ要ル譯デアリマス、從ツテ百
萬ニ近イ保險金ガアル譯デスカラ
ガ、私共トシマシテ最近ノ情勢ヲ
見マスルト、今ノ住宅ノ復興ト云
フコトモ一般的ニサルコトデアリ
マスガ、最近病人ガ非常ニ多イ、
マスガ、處ガ一方見返リニシテ居
リヒマシテ病院デアルトカ、醫院
ルヤツガ物ヲ言ハヌヤウナコトニ

デアルトカ云フモノハ、戰災保
險ニ入ツテ居ツタ爲ニ、其ノ保険金
額又ハ大藏大臣ノ指定スル地域ヨ
リ引揚ゲタルモノノ住宅ノ建築又
ハ修繕ノ爲ニ必要ナル金額、此ノ
點ニ付キマシテハ賣買ト云フコト
又ハ建築又ハ修繕ノ爲ニ必要ナル
モ入ツテ居リマスガ、住宅ノ購入
購入ダケハ許サレテ居リマス、賣
購入ダケハ許サレテ居リマス、賣
渡ト云フ…

○作間耕逸君 購入デ宜イノデア
リマスガ、ソレガ購入者ノ資格ガ
外國カラ復歸シタル者、ソレカラ
何デスカ…

○政府委員(上塚司君) 戰災者、
建物疎開ヲ命ゼラレタルモノ、又
ハ昭和二十二年二月一日以後外國
又ハ大藏大臣ノ指定スル地域ヨリ
居リマス

○作間耕逸君 戰災者ニ限ルノデ
スナ、一般的デハナイデスネ

○政府委員(上塚司君) 一般デハ
アリマセヌ

○委員長(子爵高木正得君) 大藏
省關係ノ質問ハ是デ…

○政府委員(上塚司君) 特殊預金
ノ見返リトシテ銀行カラ融通ヲ受
ケルト云フコトニ付キマシテハ、
聯合軍司令部ノ方カラ禁止サレテ
居リマスカラ、其ノ點ハ出來ナイ
コトデアリマスルガ、併シナガラ
極メテ緊要ナ社會的事業デアルト
カ、或ハ今後日本ノ經濟復興ニ必
要ナル所ノ產業會社デアルトカ、
サウ云フヤウナモノニ付キマシテ
ハ特ニ何等カノ方法ヲ用ヒマシテ
サウ云フ融通ノ出來得ルヤウニ處
置致シタイト云フ趣旨ヲ以テ、目
下研究ヲ致シテ居リマスノデ、何
等カノ機關ガ別ニ設ケラレテ、ソ
レヲ通ジテ融通ガ出來ルヤウニ致
サレルコトト思ヒマス

○原泰一君 只今ノ問題ハ御研究

戴イテ居ルト云フコトデアリマスレバ、非常ニ有難イコトデアリマスシテ、私ノ其ノ點ニ關シマスル質問ハ是デ終リタイト思ヒマスガ、併シオイデ願ヒマシタ機會ニ、罹災ノ問題アナク、モウ一ツノ他ノ方ノ關聯ニナル譯デアリマスガ、費用關聯ニナル譯デアリマスガ、費用ノ明細ノヨトヨリモ、此處デ執達吏其ノ他ノ手數料ノ値上ヲサレテ居ルノデアリマス、其ノヨトニ關聯シテチヨツト御伺シタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵高木正得君) 今ハ罹災都市借地借家臨時處理法ニ奉
聯シテノ御質問ダケニ限ラテ居ルト存ジマスカラ、若シ今仰シヤツタヤウニ、訴訟費用其ノ他ノ方ノ法案ニ付テノ御質問ナラ、後ノ機會ニ又大藏省ノ方ヲ煩ハシテ御覗キニナツタ方ガ宜イノヂヤナイカ、斯ウ私ハ思ヒマス

○原泰一君 ソレデハサウ云フ風ニ御願ヒ致シマス

○委員長(子爵高木正得君) ソレデハ大藏省ノ方ハ是デ終リマス、暫時休憩致シマス

午後二時三十五分休憩

○竹下豊次君 只今審議中ノ罹災
都市借地借家臨時處理法ト復興計
畫トハ共ニ離ルベカラザル關係ガ
アルノデアリマシテ、此ノ法律案
ハ主トシテ元ノ借地人、借家人ヲ
保護スルト云フコトガ主タル狙ヒ
デアルヤウニ承ツテ居ルノデアリ
マスルガ、一面此ノ大キナ灾害ヲ
成ルベク早ク復舊シテ行カナケレ
バナラナイト云フ必要ニ迫ラレ
居ル譯デアリマスルガ、其ノ兩者
ノ統合ト申シマスルカ、關聯密接
ニシテ法律ヲ作ルト云フコトガ極
メテ必要デアラウト思ヒマス、司
法省ノ方デハ都市計畫其ノ他ノ復
舊計畫ニ付テハ細カイ點ハ御存ジ
ナイヤウデゴザイマスルカラ、復
興院ノ方デ其ノ點ニ付キマシシテド
ウ云フ風ノ罹災地ノ復興ニ付ケ御
計畫ニナツテ居リマスカ今日ノ復
興狀況ガドウ云フコトニナツテ居
リマスカ、其ノ後ノ經過ヲ一一大
方何年位ニシテトフ云々是ハ非
常ニムヅカシイコト思ヒマスガ
何年位先ニ持ツテ行クカ、其ノ御
見込ヲ伺ヒタイ、問題ハ廣ウゴザ
イマスノデ、一々御説明ヲ願フト
云フコトハ御迷惑ダト思ヒマスノ
デ、此ノ法案ニ關係ナル部分ダ
ケ特ニ御願ヒ致シタ伊ト思ヒマス
○政府委員(重田忠保君) 只今ノ
竹下委員カラノ御質問ニ御答テ致
シマス、此ノ法案ニ直接ニ關係ノ
アル所ヲト云フ御話デゴザイマシ
タガ、一應御理解ヲ容易ニ致シマ

スル爲ニ、少シク長クナツチ恐縮
デゴザイマスガ、大體ノ今回ノ戰
災地ニ對シマスル政府ノ復興ノ方
針ト申シマスカ、サウ云フモノヲ
極ク概略申上ダトイト思ヒマス、
今回ノ戰災地ハ全國デ百二十バカ
リノ都市ニ關係致シテ參リマスル
シ、其ノ面積カラ申シマスルト一
億六千萬坪ト云フヤウナ極メテ厖
大ナル面積ニ關聯ヲ致シテ居ルノ
デアリマス、從ヒマシテ是ハ非常
ニ此ノ復興ト云フコトハ容易デナ
イノデアリマシテ、唯併シ又一面
カラ考ヘマスレバ、此ノ機會ヲ失
シマズレバ、日本ノ都市ト云フモ
ノハ到底立派ナモノニスル機會ハ
先ヅナイト云ツモ宜カラウカト存
ジマス、其ノ意味カラ申シマス
ルト、今回ノ戰災ハ誠ニ不幸ナ出
來事デハアリマスルガ、千載一遇
ノ機會デアルトモ言ヘルノデアリ
マシテ、サウ云フ見地カラ從來ノ
日本ノ各都市ガ何レモ殆ド無秩序
ト云ツテモ宜イヤウナ狀態デ以テ
發展シテ參リマシケ、或ハ防災、
或ハ保健、或ハ能率、サウ云フ點
カラ考ヘマシチ極メテ遺憾ナ點ガ
多カツタノヲ、此ノ機會ニ何トカラ
ノ方ノ著ニナル譯デアリマス、殊
ニ屢々と言ハレマスル所謂過大都
市ノ防止、非常ニ横擴ガリニ大キク
ナツテシマヒマシタ現在ノ都市、

之ヲモツト立體的ナ、地域的ニシ
セバモツト小サナ、住ミ宜イ、保
健的ニモ宜イ、サウ云フ都市ニシ
テ行キタ、斯ウ云フコトヲ實ニシ
根本ノ方針ト致シマシテ、昨年ノ
十二月三十日ニ開議ヲ以チマシテ
復興ノ基本方針ト云フモノガ定メ
ラレタノデゴザイマス、其ノ内蔵
ニ付テ一々申上ゲマスルコトハ非
常ニ時間ガ取レマスルノデ、極々
概略申上ゲルノデアリマスルガ、
第一ニ色々々ナ都市ノ施設、例ヘベ
道路デアリマスルトカ、廣場デア
リマスルトカ、綠地デアリマスル
トカ、或ハ其ノ他港灣、飛行場、
或ハ軌道、地下鐵、或ハ上水道、
下水道、サウ云フヤウナモノニ付
キマシテ、今回ノ都市計畫ノ基本
方針デハ相當マア思ヒ切ツタ方針
ヲ示シテ居リマス、例ヘバ道路ニ
付テ申上ゲマスルト、主要幹線ニ
付キマシテハ中小都市ニ於キマシ
テハ三十六「メータ」以上、大都
市ニ於キマシテハ五十「メータ」
以上ト云フヤウナコトヲ決メテ居
リマスルシ、其ノ他幹線道路ハ、
中小都市ニ於キマシテハ、二十五
メータ以上、大都市ニ於キマ
シテハ三十六「メータ」以上、ソ
レカラ補助幹線道路ト云フモノガ
ゴザイマスガ、是ハ十五「メータ
」以上トシ、已ムコトヲ得ナイ
場合ニハ八「メータ」ヲ下ラナイ
範圍ニ於テ決メテ宜シイ、或ハ區
割街路ト云フ一番小サナ街路ニナ

ル譯デアリマスガ、是ハ六「メタ一」以上、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、道路ノ占メマス面積ガ二十「パーセント」以下デアリマスルガ、震災デ東京ガ復興致シマシタ地域ニ於キマシテ「十二」「パーセント」位ニナル豫定デアリマス等ヲ除キマシテ大體三十五「パーセント」位ニナル豫定デアリマソレカラ罹災綠地ニ付キマシテモ保健、防災上非常ニ必要デアルコトハ申上ガル迄モナインデアリマスガ、今回ハソレヲ敷地十「パーセント」以上、斯ウ云フ風ナコトニ一應決メゴイマス、ソレデ東京ノ現在ガ大體四「パーセント」位デゴザイマスカラ、餘程綠地ガ植エルコトニナリマス、其ノ外廣場ニ付キマシテハ驛前トカ、サウ云フヤウナ交通ノ特ニ頻繁ナ場所ハ五十「メートル」乃至百「メートル」ノ幅員ノ場所ヲ取ル、斯ウ云フコトモ決メテ居ル、サウ云フヤウナ施設、ソレカラ土地利用計畫ト申シマスカ、從來カラ所謂工業地域商業地域、或ハ住居地域、斯ウ云フモノガ市街地建築物法デモアルノデアリマスガ、能率、保健、防災ト云フヤウナ見地カラ考ヘルト此ノ土地利用計畫ト云フモノヲ今ヨリハモット精密化致シマシテ、

ヲ設ケル必要ガアリハシナイカ、
是ハ例ヘバ住居ト申シマスト、現
在擔當住居地域ト申シマシテモ色
色ナモノガ混合シテ居リマスガ、
ソレヲ精密ナ住居地區ヲ造ルトカ
或ハ特別地區ト申シマスノハ、例
ヘバ文教地區、學校ノ附近ニ對シ
テ文教施設トシテ相應シタナイヤ
ウナモノヲ除去シテ行ク、造ラセ
ナイト云フヤウナ文教地區、或ハ
病院附近等ヲ一定ノ醫療地區ニス
ル、或ハ逆ニ淺草トカ、新宿トカ
澁谷等ハ一種ノ歡樂地區ト申シマ
スカ、消費地區ト申シマスカ、サ
ウ云フヤウナ地區ヲ造ル、斯ウ云
フ特別地區ト云フカ、サウ云フヤ
ウナコトヲ考ヘテ居ル、但シ都市
利用計畫ニ付キマシテハ、市街市
建築物法ノ立法措置ヲ要スルノデ
實ハ未ダ案ヲ練ツテ居リマシテ、
恐らく次ノ議會アタリニ御審議ヲ
願フコトニナラウト思ヒマスガ、
サウ云フヤウナ問題ガアリマス、
ソコデサウ云フヤウナコトヲ色々
道路ヲ造ル、廣場ヲ造ル、或ハ綠
地ヲ造ル、サウ云フヤウナコトヲ
ドウ云フ方法デヤツテ行クカ、是
ガ矢張リ基本方針ノ中ニ、其ノ方
法論トシテ區劃整理或ハ買收、尙
場合ニ依ツテハ地券ノ發行ヲ考ヘ
テモ宜イト云フヤウナコトガ書イ
テアリマスガ、大體現在デハ地券
ノ問題ハ非常ニ議論ガアリマスノ
デ、區劃整理或ハ買收ノ方法デヤ

ヲシテ行ク、斯ウ云フヤウナ考へ方
ノ都市計畫法ニ依ルダケデハ現在
ノヤウナ非常ニ澤山ナ戰災地ヲ、
特ニ土地整理ハ急遽ニシナケレバ
ナラヌ關係カラ、相當立法的措置
ヲ要スルノデ、例ヘバ施行地域ノ
擴大ナ問題デアルトカ、或ハ濱地
ガドウシテモ多クナルノデ、ソレ
ニ對シテ補償限度ヲドウ云フ風ニ
決メテ行クカト云フヤウナ問題、
ソレカラ又過小敷地ト申シマスカ
非常ニ小サナ敷地ガアルコトハ、
過剩密度ノ方針カラモイケナイシ
オハ「コンクリート」ノ建物ヲ建テ
行クニモ色々障碍ニナルカラ、
ソレヲ整理シナケレバナラヌト云
フコトカラ、ソレヲ現在ノ都市計畫
法ハ困難ナ點ガアルカラ、斯
ウ電力點ハ實ハ今回議會ニ提案シ
テ居ル特別都市計畫法デヤツテ行
ク、斯ウ云フヤウナコトヲ實ハ考
ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ
尙建築物ノ問題ニ付キマシテモ、
基本方針ハ將來都市ノ建築物ハド
バ、成ルベク無用ノ交通ヲ調節ス
ト云フ點カラ、「コンクリート・
ラス、又住宅ニ付テ申ジマスナラ
バ、成ルベク無用ノ交通ヲ調節ス
トカラ防火地區ノ設定ノ問題、其
ノ他種々現在ノ市街地建築物法カ
ラ十分デナイン點ガアリマスノデ、

是ハ先程申上ゲマシタ市街地建築物法ノ改正ノ問題トシテ、目下審議ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、大體全國デ先程モ申上ゲマシクヤウニ百二十程ノ都市ニナル譯デアリマスガ、各都市トモ非常都市計畫ノ事業ハ進捗状況ガ宜イノデアリマシテ、實ハ今日殆ド全部ノ都市ガ最早下打合セ濟ニナツテ居リマス、建物ノ委員會ヲ開イテ決定シタ都市ダケデモ既ニ半バニ越エテ居ルヤウナ状態デアリマシテ、大體街路計畫等ハ殆ドノ都市デ立ツテ居リマス、東京ハソニ加ヘマシテ或ハ綠地ノ計畫、或ハ用土地域ノ決定ト云フヤウナ所迄済ンデ居リマシテ、此ノ分デ行ヶバ恐ラク茲一箇月半バカニ箇月位ノ中ニ大體各都市トモ、此ノ方針ニ付クト考ヘテ居リマス、今回ノ各都市ノ復興ニ付テハ、基本方針ニアリマスガ、我々ノ方トシテハソレナラバ斯ウ云フコトガ、例ヘベク震災ノ後ナドハ政府ガ直接シタガ震災ノ後ナドハ政府ガ直接シテ都市ノ力デ一ツヤツテ貰ヒタイ、又國家ノ力ノ状態ハ今日ノヤウナ状況デアリマスノデ、成ルベク各都市ノ力デ一ツヤツテ貰ヒタイ、從ツテ事業ノ施行ハ市町村長ガ原則トシテヤル、已ムヲ得ナイ場合ハ府縣知事ガヤル、之ニ對シテ國家ハ固ヨリ補助ヲスル、例ヘバ士地整理ニ付テハ昨年度ハ九割、今年度ハ八割ノ補助ヲ致シテ居ルノ

デアリマスガ、ソレハ何處迄モ輔助デアリマシテ、飽ク迄モ戰闘ヲ受ケタ羅天地ノ都市自身ノ力ニ依ツテ立上ウテ貰ヒタイ、從ツテノ計畫モ我々ノ方で色々御注意スルガ、各都市ノ創意工夫ニ依ツテ、自分達ノ本當ノ町ヲ自分達ノ手デ立派ナ佳ミ好イモノニ造リゲル、斯ウ云フ心組デヤツテ貰ヒタイ、ソレバ、其ノ都市ノ特徴ノ生カシテヤツテ貰ヒタイ、斯ウノ根本方針デ今日迄取扱ツテ來テ居ル譯デアリマス、從ツテ今回ノ司法省カラ提案ニナツチ居ル罹災都市借地借家臨時處理法案トハ色々ナ意味デ極メ密接ナ關聯ナハ色々ナコトニナツテ來マスガ、例ヘバ道路ナリ、或ハ綠地ナリ、廿ヌノデアリマシテ、是ハ問題ハヨニ付キマシテハ、色々實際問題トハツテヤソレヲ勘案致シマシテ、實際問題ノ御處理ヲ願ツテ行カナケレバナラウ云フ風ナ決定ヲ致シマシタ場所ニ付キマシテハ、色々實際問題トハツテヤソレヲ勘案致シマシテ、實方ニモサウ云フ意味ノ通牒モ出シテ居リマシテ、將來ノ道路敷ニナルヤウナ場所ハ、其ノ道路計畫ヲ支障ニナラナイヤウニ處理シテ行ク、斯ウ云フコトデ相互關聯ヲシテヤツテ居リマス、實ハソレガナルノ道道路計畫其ノ他ヲ非常ニトメ決メテ行カナケレバナラヌテヤツテ居リマス、只今申上が

間ニ各都市トモ道路計畫、綠地計畫其ノ他大體此二箇月ノシテ參ルト思フノデアリマスソデサシタル支障ヲ生ジナイデ進行出来ルト考ヘテ居ルノデアリマス
○竹下 聰次君 御話デ實ハ大變意ヲ強クンタ、今御話ヲ承リマシタノデ、私ノ一番心配シタノハ、此ノ計畫ノ方ガ本案ノ施行ニ遅レルコトニツタラ途方モナイヤウナコトニナリハシナイカト思ツタガ、今ノ御話ヲ承ツテ大變能ク御進ミニナツテ居ルヤウデアリマスガ、只今ノ御話デ小サイ都市ダツタラ此ノ一二箇月ノ中ニ計畫ガスツカリ立ツト云フコトモ我々素人トシテ考ヘラレマスガ、東京、大阪見タイナ所デサウウマク行クダラウカ、是ハ此ノ前ノ時私ハ東京ノ大キナ幹線ダケハ拜見致シマシタ、併シ問題ハソレモ大事デアリマスケレドモ、細カイ點ガ寧ロ都市ノ面積トシテハ關係ガ廣イノデアリマスカラ、サウ云フ點迄東京ヲ一二箇月ノ中ニ手ガ届クノデアリマセウカ

○政府委員(重田忠保君)

全部ガ一遍ニ行ハレルト云フコト
ニハ勿論是ハナリマセヌノデアリ
マスガ、既ニドノ地區トドノ地區
ニ區劃整理ヲ行フト云ココトモ決
定ラ致シマシテ今設計ヲ樹ツテ居
リマス、從ヒマシテ本當ニ細カイ
其ノ土地々々ノコトニナリマスル
トソコ迄參リマセヌコトニハ本當
ノコトハ決ラナイ譯デゴザイマス
ガ大體先ツ東京邊リハ寧ロ相當他
ノ都市ニ較ベマシテ進捗率ノ宜イ
方デアリマシテ、全部ノ區劃整理
ノ設計ガ此ノ一二箇月ニ出來ルト
云フコトニハ相成リマセヌケレド
モ少クトモ差當ツテヤリマスヤウ
ナ場所、例ヘバ目抜ノ場所デアリ
マストカ云フヤウナ處ハ今設計中
デゴザイマス、

ノ施行ノ方ハ御急ギニナリサヘス
レバ私ハ相當ニ速ク出來ルモノダ
ト思ツテ居リマス、處ガソコノ調
子ガ合ヒマセヌト折角権利ハ得タ
家ハ拵ヘタガ又其處カラ引拂ハナ
ケレバナラヌト云フ問題ガ起ツテ
來ルダラウト思フノデアリマス、
是ハ復興計畫ニモ非常ニ邪魔ニナ
リマスシ権利ヲ得タ本人ニ致シマ
シテモ非常ニ迷惑ノコトニナルト
思ヒマス、復興院ト司法省トノ兩
方ノ連絡非常ニ大事ダト私ハ思フ
ノデアリマス

○政府委員(奥野健一君) 其ノ點
ニ付キマシテハ復興院トモ能ク連
絡ヲ保ツタ上デ適當ニ成ルベク速
ク施行致シタイト思ツテ居リマス

○政府委員(重田忠保君) 尚私カ
ラ附加ヘテ申上ゲマス、只今ノ御
質問ガハツキリ致シマシタガ、例
場合ニ將來ソレガ路線ナリ、何ナ
リ該當スル場合ハドウスルカ、斯
ウ云フコトガ御質問ノ點ダト私ハ
伺ヒマシタガ……

○竹下豊次君 ソレハ私ノ心配ノ
點デモアリマス

○政府委員(重田忠保君) ソレハ
私共ノ方ト致シマシテハ斯ウ云フ
風ニ考ヘテ居リマス、勿論計畫路
線其ノ他ガ決リマシタ場合ニハ一
應例ヘバ堅牢建築物ト云フヤウナ
モノハ是ハ御建テ願フ譯ニ行カヌ
ト思ヒマス、併シ假設建築物ハ:
・現在建テマスノハ恐ラク假設建

建築物ト云フヤウナモノデゴザイマ
リマシテモ、ソレ迄止メルト云フ
意思ハゴザイマセヌ、ソレカラ併
シサウ云フ場合ニハ將來或ハ無償
デ撤去スルト云フヤウナコトヲ條
件ニ附スル場合モアルカト思ヒマ
スガ、實際問題ト致シマシテハ今
日家ガ少シデモ欲シイ時ニ唯計畫
ガ決ツタカラト云ツテ、ソレヲ壞
シテシマフト云フヤウナコトハ實
際問題ト致シマシテモ考ヘラレマ
セヌノデ、私共ノ方ト致シマシテ
ハ計畫ノ決定致シマシタ、例ヘバ
道路トカサウ云フヤウナモノニ決
リマシタ處ハ只今申上ゲマシタヤ
ウニ成ルベク假設建築物ヲ建テル
ナラ建テ貰ヒタイト思ヒマスガ
假ニサウ云フフトニナリマシテモ
之ヲ實際ニ撤去スルト云フヤウナ
コトハ、先ツ此ノ處當分ノ間ハナ
カナカ來ナイダラウト思ヒマス、
今回ノ道路計畫ハ尙御注意迄ニ申
上ゲマスルガ、道路計畫ヲ決メマ
シテモ、ソレガ翌日カラ直チニ道
路ニナルト云フヤウナコトニハナ
カナカ今日ノ實情カラ申シマシテ
ナリマセヌ、一應ノ詰リ謂ハバ繩
張ヲ決メルト云フノガ今日ノ大體
ノ建前デゴザイマスカラ、其ノ繩
張ノ中ニ例ヘバ新ラシク建テタモ
ノデナクテモ、從來カラアル建物
ノ場合モゴザイマセウ、サウ云フ
モノヲ勿論急ニ明日カラ直グニ除
ケテシマフト云フコトハ實際問題

トシテハ致ス所存モゴザイマセ又シ、又出来モシマセヌ、ソレカラ
新シク建アルモニ致シマシテハ、
只今申上ゲタ趣旨デ堅牢建築物等
ハ將來撤去ガ不可能デアリマスカラ、サウ云フモノハ路線ニ從ツテ
計畫ガ決ツタカラ立ドコロニ從來
アリマスル所ノ建物ガ除ケラレテ
シマフト云フヤウナコトハ、私共
ノ方トシテハ別ニ今ノ處考ヘテ居
リマセヌ

建築物法トカ、其ノ他色々ナサウ
云フ復興關係ノ法令モ含メマシテ
其ノ法令ノ範圍内ニ於テ本法ハ借
地權ノ設定ノ申出等ガ出來ルコト
ニナツテ居リマスカラ、大體ニ於
テ二重復興計畫ト矛盾シナイ建前
行ケルダラウト思ツテ居リマス
コトハ、堅牢建物ハ許サナイトカ
何處カラ何處ノ繩張ニスルノダト
カ云フヤウナ法令ガ出來ナイ限り
今司法當局ノ御説明ノヤウニハ行
カナイト思ヒマス、現在ノ法令デ
ヤツテ見タ處デソレハ仕様ガナイ
此ノ後ノ計畫ノ分ニ付テ調子ヲ合
セテ行カナケレバナラヌノデヤナ
イカト思ヒマス、デスクラ要スル
ニ計畫ノ方ヲ急イデ早ク法令ヲ決
メテシマハナイト云フト後先ニナ
ツテシマフ、サウスル堅牢建物
モ許サレテシマフ、法律ノ上カラ
見レバサウ云フコトニナリハシナ
イカト云フヤウナ疑問デゴザイマ
ス

リマシテ之ヲ其ノ道路内ニハ許可
シナイ、抑ヘテ行クト云フコトガ
出來ル譯デゴザイマス、ソレ以外
ノ詰リ容易ニ將來、移轉或ハ取壟
シ得ルヤウナモノニ付キマシテハ
現下ノ實情ニ鑑ミマシテ、成ルベ
ク大目ニ見テ行キタイト云フノガ
先程來申上ガタコトニナル譯デゴ
ザイマス

大體建築ヲ許サナイ、所謂臨時建築制限令ノ問題デスガ、其ノ中ニ十五坪以上ハ許サナイ、特別ノ許可ヲ得タ場合ノ外ハ許サナイト云フコトガアルノデアリマスガ、是ハ實ハ私ノ方ト致シマシテハ當分ノ間ト書イテゴザイマスガ、其ノ當分ノ間ト云フノハ、大體ヨコ一
年間ト云フ見透シヲ持ツテ居リマ

○政府委員(重田忠保君) 住宅ノ
建設計畫ニ付キマシテハ、實ハ私
共モ非常ニ之ヲ完全ニ遂行シ得ル
ヤ否ヤト云フコトハ憂慮致シテ居
リマス、大體私共ノ方ノ住宅ノ必
要性カラ判定ヲ致シタノデゴザイ
マス、先づ非常ニ少ナ目ニ見積リ
マシテ、現在ノ日本ノ狀況デハ、
マジナニモ一月二十五萬石

兎ニ角此ノ四十萬戸以上モ住宅ノ不足シテ居リマス現在ニ於キマシテ少クトモ二十五萬戸程度ノモノハドウシテモ建テナケレバ是ハ相濟マヌコトデアルト思ヒマスノデ、實ハ千二百萬戸ノ木材ヲ取ルコトニ、現物化スベク努力ヲ致シテ居リマス、住宅營團等カ從來カラ相當手持持ツテ來テ居ル木材

モノニナツテ來マスト、餘程是に
困難ナ事柄ニナルノデハナイカト
思ツテ居リマスガ、併シソレニ付
テモ何トカ二十五萬戸建テタイト
云フ豫定デ、最近大體計畫住宅、
個人住宅、何モ彼モ入レマシテ大
央ノ大體ノ趨勢ハ、本年一月以降
ノ統計ニ依リマスト、毎月二萬戸
位建ツテ居リマス、ソレカラ參里

リマスカ、堅牢建築物ハ道路敷ノ
決ツテ居ル所ハ今ノ御話デ分リマ
シタガ、道路敷ノ計畫ガマダハツ
キリシナイ分デモ、建築物ニ付テ
ハ許可ヲ得ナケレバナラナイト云
フ現在ノ規定ニナツテ居リマスカ
従ヒマシテ「コンクリート」建築
ハ勿論當然デゴザイマス

○竹下豊次君 御方針トシテ只今
十五坪以上ノモノヲ許サナイト云
フコトニナツテ居リマスネ、特ニ
許可ノアツタ場合ハ大體此ノ十年
ト云フコトヲ標準トサレタノハ、
今ノ掘立小屋見タヤウナ十五坪以
下ノ分ヲ狙ツテ十年ト云フコトガ
ノ問題ニ付テ御質問ガアリマシタ
決ツタ譯ナノデゴザイマセウカ

○政府委員(重田忠保君) 十年ノ
問題ハ別ニ致シマシテモ、十五坪
上ダマスガ、十五坪ノ問題バカリ
デナク、例ヘベ料理店、待合等ハ

マスト、此ノ制限令ヲ公布致シマ
シタ理由ハ、申上ゲル迄モ、ク現
在ノ非常ニ窮屈ナ資材狀況カラ致
シマシテ、今日不要不急ノ建物ヲ
建テルノハ現在ノ國民生活ノ實情
ニ照ラシマシテ、稍ミ大キイ建物ヲ
ヲ抑制シテ行キタイ斯ウ云フ見地
カラ略ミ一年間位ノ見透シノ下ニ
當分ノ間サウ云フヤウナ建物ヲ建
テル場合ニハ特別ニ許可ヲ要スル
斯ウ云フ實ハ先般勅令ヲ出シテ戴
イタノデアリマス、從ヒマシテ是
ハ資材事情カラ全ク出テ來テ居ル
コトデアリマスノデ、資材事情ナ
リ其ノ他ノ或ハ資金ノ關係モゴザ
イマスガ、サウ云フコトガ漸次好
轉シテ參リマスレバ、勿論此ノ制
限ハ當然解除サレテ行ク方向ニア
ルト云フコトヲ申上ゲテ宜カラウ
ト思ヒマス

テマセヌト迫ツカナイノデゴザイ
マス、處ガ只今モ御話ノアリマシ
タヤウニ、最近ノ木材事情、獨リ
木材バカリデハナイ、其ノ他ノ資
材ノ事情等ノ點ヲ考ヘマシテ、
實ハ其ノ五十萬戸ト云フコトヲ一
應樹ツタノデアリマスガ、之ヲ半
分ノ二十五萬戸ト云フモノニ變更
致シマシテ、其ノ中ノ約半分ガ所
謂計畫住宅、公共團體ナリ、住宅
營團方建テマスル計畫住宅、ソレ
以外ノ半分ガ大體個人ノ建テルモ
ノ、斯ウ云フヤウナ實ハ今ノ所案
ニナツテ居リマス、木材ノ御話ガ
出マンタガ、其ノ二十五萬戸建テ
マスルノハ、大體今ノヤウナ十二
坪乃至十五坪ノ家ト致シマシテ、
大體千二百萬戸要ル、此ノ千二百
萬戸ノ木材ハ正シク割當ヲ頂戴致
シテ居リマス、併シ割當ダケ頂戴
致シマシテモ、木材ノ方ガ果シテ
ソレガ現物化ガドコ迄出來マスル
カト云フコトニナリマスルト、是
ハナカ／＼容易ナ努力デハ出來マ
セヌ、出來マセヌガ、併シナガラ

考へマシテ、私共ト致シマシテハ、最少量度計畫住宅ハ、即チ先程出上ガマシタ二十五萬戸ノ約半分デアリマスル十二萬四千戸ノ分トシテ、大體木材ニ付テハ心配ナイトシ云フ見透シヲ持ツテ居リマス、併シナガノ其ノ他ノ資材、例ヘバ釘デアリマストカ「セメント」デアリマストカ、或ハ鐵鋼ト云フモノデアリマスルトカ、サウ云フ問題ニナツテ參リマスルト、商工省ノ第一四半期ノ割當ト云フモノハ我々ノ需要量ニ較ベテ相當少ナインデアリマス、ソレハドウスルカ、是ハマダ色々々今後ノ問題ニ屬スルコトガ多イノデアリマスルガ、結局ソレハ昨年來ノ所謂軍ノ特殊物件ニ依存ヲスル外ハナイノデアル實ハ斯ウ云フ積リデ目下其ノ方面ト色々々交渉シテ獲得スペク努力デア致シテ居リマス、從ヒマシテ計算住宅以外ノ個人住宅ト云フモノニナリマスト、木材ノ點デハ大體或程度ノ見透シハ付イテ居リマス、或ハ釘トカ、「セメント」トカ云

マスト、先ツ空手形、大體終了。ナインデヤレルノヂヤナイカ、今後悪化ヲシテ參リマスレバ別デアリマスガ、一月カラ今日迄ノ状況、ハ大體見込ガアルト我々ハ實ハ實ヘテ居ルノデアリマシテ少クタモ目標ダケハ今年建テタイ、斯様ニ考へテ今努力ヲ致シテ居ル譯デザイマス。

ハ或程度ノ御成功ヂヤナイカト思ヒマス、今御話ノヤウニ行キマスレバ結構デアリマスガ、多少氣ニナル點モアリマスガ、大體擔任局ト連絡ヲ御取り下サイマシテ、出来ルダケ完成サレマスヤウニ御願ヒシタイト思ツテ居リマストイト思ヒマス

○委員長(子爵高木正得君) 只今ノ御質問ニ關聯シテ復興院副次長ニ御質問ガオアリナラ此ノ際願ヒタイト思ヒマス

○作間耕造君 復興院次長ノ御説明デ都市計畫方面ガ相當進ンデ居ルト云フコトハ承知致シマシタ、誠ニ結構ニ存ジマス、ソレト一面同時ニ否ゾレヨリモ寧ロ國民ハ住宅ノ増設、ソレヲドウカシテ今少シク簡便ニ、今少シク容易ニ安ク建設シ得ルカ、是ガ一番心配モシ又希望致シテ居ル所デアリマス、實ハ假建築ハ都市計畫ニ關係ナク許サレルノガ原則ナノデアリマスカラ、此ノ方面ヲ進捗サシテ戴ケベ一層精構ト思フ、併シソレニ付キマシテハ、今竹下君カナノ御質努力是ハ十分察シテ居リマスケレドモ、其ノ市民ノ住宅ノ増設、之ヲ早ク安ク建築ノ出來ルヤウニスル、之ニ付テ何等力格段ノ御施設ヲ爲サツタカドウカ、ソレヲ一ツ伺ヒタインヂスガ、モウ御事情ハ十分御察シ、御苦勞ハ十分御察シ申上ゲテ居リマスケレドモ、何等

カ手ヲ御打チニナラナケレバ、住宅難ノ問題ハ到底此ノ儘ヂヤ解决ハ出來ナイノデアリマスカラ、先市計畫ノ立案ハ寧ロ其ノ後デモ宜シイ位ナゾト云フ意向ヲ持ツテ居築サヘモガ今日一坪ニ付ケ、縱令營團カラ運好ク組立資材ガ手ニ入ルダラウト思フノデス、其ノ假建築サヘモガ今日一坪ニ付ケ、縱令リマシテモ、ソレデモ一坪三四千圓ハ掛ル、況ヤ自分で全部ノ資材ヲ持ツテ、サウシテ初メカラ建築スルトナルト、ソレガ假建築デモソレ以上ノ金ガ掛ル、是デハ逆モ罹災民ハ自力ヲ以テ建テ行クト云フコトハ容易ナコトデハナイ、ソレデ先刻モ堺山委員カラ御話モスヨリモ、モウ少シ苦勞少ク、自分ノ假建築セメデ「バラツク」ダケハ建テラレルヤウニ此ノ御方策ニ付テ如何ナル特段ノ御工夫ト御施設ヲ行ハレタカ、又ハ考ヘラテ居リマスカ、此ノ點ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス

一般ノ状況デアリマシテ、住宅問題ニ付キマシテハ、昨年來政府ト致シマシテモ非常ニ苦心ヲシテ參ツタノデアリマス、昨年來ノコトヲチヨット簡單ニ申上ガマスト、マダ戰災復興院ノ出來ル前デゴザイマスガ、即ち厚生省時代ニ越冬住宅ト致シマシテ、所謂簡易住宅之ヲ三十萬戸計畫致シマシタ、正確ニ申上ゲマスト、二十六萬戸ガシノ計畫トナルノデアリマスガ、六坪二合五匁位ノ粗末ナモノニアリマスガ、當時四十二萬戸稱セラレマシタ蠟舍生活者ノ爲ニ取敢ズ大急ギデ建アルト云フコトデ、所謂三十萬戸計畫ト云フモノヲ政府ト企圖致シマシヤツタノデアリマスガ、結果ニ於キマシテ、此ノ簡易住宅ハ誠ニ色々ナ惡事情ニ災ヒサレマシテ、本年ノ三月末デ約三分ノ一シカ建タナカツタノデアリマス、大體矢張リ地方デハ中大小都市ガ割合ニ成績ガ好イノデアリアルトカ、サウ云フ所ハ岐阜トカ、或ハ前橋トカ、或ハ大垣トカ、サウ云フリマス、大體矢張リ地方デハ中大小都市ガ割合ニ成績ガ好イノデアリアルトカ、サウ云フ意味ノ復興ヲ致シテ居リマス、サウ云フ所ハマダ思ハシイ状況ニナツテ居リマセガ、大都會デアル東京デアルトカ、大阪デ全體ト致シマシテ、簡易住宅ハ當時政府ノ計畫致シマシタ三分萬戸ノ約三分ノ一ガ建ツタノデアリマス、其ノ外ニ政府ハ轉用住宅

ハ工場ノ寄宿舎デアリマストカ、
或ハ羅災ヲ致シマシタ「ビルディング」デアリマストカ、ザウ云フ
モノヲ住宅ニ轉用スルト云フ方針ヲ立テマシテ、其ノ爲ニ昨年ノ十一月ニ住宅緊急措置令ヲ公布致シ
マシテ轉用ニ努メマシタノデアリマスガ、大體本年ノ三月末ニソレ等ニ依リマシテ二萬二千戸餘ノ住宅化ガ行ハレタノデアリマス、其ノ外ニ個人デ建テマシタ計畫外ノ住宅ガ約十六萬戸程三月末迄ニゴザイマシテ、結局合計致シマシテ三月末迄ニ二十七萬戸程ノ住宅ガ出来タト、斯ウ云フ状況デ本年度ニ入ツタ謂デザイマス、ソコデ本年度ハ先程來申上ゲマシタヤウニ、ドウシテモ我々トシテハ先ヅ少ナクトモ五十萬戸位ノモノハ最少限度欲シイノデアリマスルガ、現在ノ資材事情其ノ他カラズハ到底不可能デアルト云フ結論ニ到達テアリマス、其ノ第一ハ新設計畫デアリマシテ、是ガ先刻來申上ゲマシタ二十五萬戸ノ計畫デゴザイマス、但シ本年度ノ住宅營團其ノ他ガ建テマスル住宅ハ、昨年ノ越冬住宅ノ六坪二合五勺ハ餘リニモ貧弱テアリマシテ、到底之ニ長キニ瓦ツテ住ムト云フコトハ困難デ

シマシテ、此ノ新設計畫ニ依リマ
シテヤツテ行キタイ、斯ウ云フ風
ニ考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ
二十五萬戸ノ中約半分ノ十二萬四
千戸ガ計畫住宅デアリマシテ、其
ノ十二萬四千戸ノ中十萬戸ガ新築
デアリマス、是ハ都會、或ハ農村
等ニ岐レルノデアリマスガ、本年
度ノ特徵ト致シマシテハ、或ハ肥
料工場ノ労務者ノ爲ニ特別ナ住宅
ヲ計畫スルトカ、或ハ炭坑ノ労務
者ノ爲ニ特別ナ住宅ヲ計畫スルト
云フ、所謂給與住宅ト我々ノ方デ
呼ンデ居リマスガ、職場デ住宅ヲ
與ヘルト、斯ウ云フ風ナモノモ之
ニ含マレテ居リマス、大體サウ云
フモノヲ十萬戸、此ノ中一千戸ヲ
「コンクリート・アパート」ヲ建
テタイト思ヒマシテ、今資材ノ手
配、敷地ノ選定、或ハ建築ノ設計
等ヲ進メテ居ル次第アリマス、
ソレカラ残リノ二萬四千戸ト云フ
ノガ先程來申上ゲマンタ轉用住宅
ヲ繼續スル譯デアリマシテ、之ニ
對シマシテハ、大體二萬戸ガ普通
ノ木造ノ軍用建物其ノ他ノ轉用デ
アリ、四千戸、大體一戸八十分坪ト
計算シテ居リマスガ、大體四千戸
ガ罹災「ビルディング」ノ利用デ
ゴザイマス、サウ云フ風ニ致シマ
シテ十一萬四千戸ノ計畫住宅ヲ計
畫致シマシタ、其ノ外ニ大體個人
住宅ハ見透シ十二萬六千戸、今日
ト致シマシテ二十五萬戸ノ計畫住

宅ガ出来上ツテ居ルノデアリマス
是ガ第一ノ新設ノ計畫デアリマス
ソレカラ第二ハ、先般來新聞デ御
承知ト思ヒマスガ、事情斯クノヤ
シテ戴キタイ、斯ウ云フ意味カラ
ウナ有様デアリマスルノデ、少シ
デモ餘裕ノアル方ニハ住宅ヲ提供
シテ戴キタイ、斯ウ云フ意味カラ
餘裕住宅ノ利用ト云フ方針ヲ、住
宅緊急措置令ノ一部ヲ改正致シマ
シテ、法的ノ根據ヲ持タシタノデ
アリマス、是ハ大體八室以上、或
ハ四十二疊ヲ超エル家ヲ一應ノ標
準ト致シマシテ、其ノ外ニ其ノ以
下デモ特ニ人數ガ少イ場合ハ住宅
ニ提供ヲシテ欲シイ、斯ウ云フコ
トヲ、餘裕住宅ノ利用、普通ノ言
葉デ申セバ大邸宅ノ開放ト云フコ
トヲ實ハ先般來實施シテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ第三ガ、先程
チヨツト申上げマシタ今度ハ資材
ノ面カラ此ノ際料理屋トカ「ダン
スホール」トカ或ハ劇場トカ、サ
ウ云フモノヲ木造デ建テラレテハ
困ル、或ハ十五坪以上ノ住宅ヲ木
造デ建テラレテハ困ル、斯ウ云フ
見地カラ不要不急ノ建築物ヲ抑制
制ト、此ノ三本建テデ二十一年度
ノ住宅政策ヲ何トカヤツテ參リタ
イ、斯ウ云フノガ今年度ノ計畫デ
アリマス、之ニ對シマシテ昨年ハ
簡易住宅ノ一部、又轉用住宅ニ付
キマシテハソレヽ若干ノ國庫補

助ヲ出シタノデアリマスガ、本年度モ何トカ一ツ相當ナ國庫補助ヲ御願シタノイト云フコトデ、先般來ノ「マツカーサー」司令部ノ方マス、ト申シマスルノハ、今日ノ一般ノ物價水準カラ申シマシテ、ドウ安ク建テマシテモ小サイ家デ矢張リ相當高イ家質ヲ取ラナケレバナラヌト云フノガ實情デアルコトハ御承知ノ通リデアリマス、處ガソレデハ一向戦災者其ノ他ノ庶民ニハ實用ニナラナイ、其ノ意味ニ於キマシテドウシテモ茲ニ一定ノ補助ヲ國庫カラスルコトニ依リマシテ、比較的低廉ナ家質デ以テ戦災者其ノ他ヲ收容シタイ、斯ウ云フ見地カラ目下其ノ點ニ付キマシテ、大藏省當局ト折衝ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマシテ、大體マア昨年カラ本年ノ住宅政策ト申シマスカ、極ク概略申上ゲルト左様ナ狀況デアリマスト左様ナ狀況デアリマス

○作間逸若 私ノ主トシテ御尋ネ政シタノイト思ツタノハ、今ノ貸家建築ニ對スル政府ノ助成獎勵ノ方策デアリマシタガ、ソレハ今次長ノ説明デ一應了解致シマシタ、唯率直ニ申上ゲマスト住宅營團、或ハ其ノ他ノ手ヲ經テ民間ニ渡ルスカ、サウシテソレヲ配給ヲ受ケヌ

タ市民ガ完全ニ、イヤ完全ト申シ
テモ、實際住メルヤウニスルニハ
幾ラ位掛ルト云フコトヲ御調査ガ付イテ居リマスカ、先ヅ其ノ拂下
ゲニナル一番安イノト一番高イノト、色々種類ニ依ツテ違ヒマセウ、面倒デ
規格ニ依ツテ違ヒマセウ、面倒デスカラ、現在ノ處一番高イノハドレ位、一番安イノハドレ位アリマスカ

○政府委員(重田忠保君) 非常ニ
安ク見テゴザイマス
○作間耕逸君 現實住宅營團等デ
引渡サレル價格ガサウデスカ
○政府委員(重田忠保君) サウデ
ゴザイマス
○作間耕逸君 ソレカラ兎ニ角市
民ガ住メルヤウニ其ノ上ノ手入ヲ
シテ、自分ノモノニシテ、ソレニ
入り込ム、是迄ニ幾ラ掛ツタカ、
幾ラ掛カルデアラウカト云フコト
ヲ御調ニナツタコトガアリマスカ
○政府委員(重田忠保君) 昨年度
ノ六坪二合六勺、先程申上ゲマシ
タ所謂簡易住宅デアリマスガ、ア
レガ當時確カ三千八百圓位デ賣却
シタト思フノデアリマスガ、其ノ
當時ノ話ト致シマシテ、先づ之ニ
相當自分ノ思フヤウニ手ヲ入レテ
入ルト云フコトニナリマスルト、
大體一萬圓位ニナル、斯ウ云フ國
ニ承知致シテ居リマス
○作間耕逸君 實際ハ一萬圓デモ
足リナイ位デアリマスガ、ソレハ
サウトシテ別ノ問題ニ移リマスノ
ハ、復興院デハ一般ニ地代家賃ト
ノデアリマスルガ、一般的標準
原則トシテ決メラレルトカ云フコト
トデ、或ハ厚生省デアツタカモ知
ツテ達ヒ、家賃ハ家ニ依ツテ達ニ
レマセヌガ、近頃既ニ新聞ニ發毒
ニナツテ、最近之ヲ實施スルノゾ
疊一疊ガ貸家ナラ幾ラ、ソレカラ
貸間ナラ幾ラ、ソレカラ「アパー

ト」ナラ幾ラ、既ニコレフ堂々ト
發表サレタ新聞紙モアツタヤウデ
アリマスルガ、其ノ後ソレハ無期
延期ニナツタカ、見合セニナツタ
カ、立消エニカツタカ未ダ實施サ
レナイ、是ハ勿論家ニ依リ又所ニ
依リ、其ノ土地建物ノ場所、種類
階級、構造等ニ依ツテ一樣ニハ行
キマスマイ、ケレドモ大體一般的
ニ、原則的ニ凡ソ是ガ適正デアル
是ナラ相當ノ地代家賃デアルト云
フ標準ヲ御決メニナツテ、之ヲ御
發表ニナル思召ガアルノデアリマ
スルカ、先日來新聞デサウ云フヤ
ウニ傳ヘラレテ居ツタノハ、アレ
ハ根據ノナイコトデアツタノデア
リマセウカ、サウ云フ御意思ガア
ルカナイカ、若シオアリニナレバ
凡ソドレ位ヲ現在相當ダト御考ニ
ナツテ居リマスルカ、序ニ承ツテ
置キタイト思ヒマス

シタイト考へマシテ、目下實ハ色彩研究ヲ致シテ居ルノデアリマス
マア地代ノコトハ別ニ致シマシテ
家賃デ申シマスルト、現在ノ實情
ハ例ヘバ修繕費ト云フモノヲ若シ
大家サンガ持ツテヤルト致シマス
レバ、非常ニ高イ金ヲ出サナケレ
バ出來ヌ譯デアリマシテ、從ヒマ
シテ先ヅ修繕ハ一切シナイ、從ツ
テ家ハドンノ傷ンデ腐朽シテシ
マフ、是ハ現在ノヤウナ住宅不足
ノ實狀ニ非常ニ勿體ナイコトデア
リマス、ソコデサウ云フヤウナモ
ノハ相當修繕モシ、手入レモシテ
成ルベク家ノ耐久力ヲ強メルト云
フ爲ニハ、矢張リ現在ノ家賃ノ統
制ト云フモノガ數年前ノ所謂「ス
トップ」令ニナツテ居リマスルノ
デ、之ヲ何等カノ意味デ合理化シ
ナケレバナラスト云コトガ一面
デ考ヘラレルノデアリマス、併シ
ナガラ又現在ノ物價カラ申シマス
ルト假ニ十分家主ガ賄ヒ得ルダケ
ノモノヲ家賃ニ見込ムト致シマス
レバ相當多額ナ家賃ヲ取ラナケレ
バナラナイ、ソレハ五百圓生活ト
云フ件ノ中デ國民ノ生活ノ上ニ於
テ相當矢張リ困難ナ問題ヲ惹起ス
ル、其ノニツノ面ヲ何處デ調節サ
シテヤツテ行クカト云フノガ新ラ
シイ今回ノ統制方針ノ根本ノ實ハ
考ヘ方ニナツテ來ル譯デアリマシ
テ、實ハ色々案ハ出來テ居リマシ
テ、色々土地ニ依リ、家屋ノ實態
ニ依リ從來ノ單ナル「ストップ」

ヲシタト云フ統制令デナイモノヲ
作リタイト思ヒマシテ、今研究致
シテ居ルノデアリマスガ、關係方
面ト折衝ニ實ハ大變手間取リマシ
テ、未ダニ其ノ改正ノ統制令ガ公
布サレナイノハ非常ニ遺憾ニ考へ
テ居リマス、ガ併シナガラサウ云
フ大體ノ考ヘ方デ從來ノストップ
令ノ廢止迄ニ何トカ間ニ合セテ新
ラシイ統制方式ノヤリ方ヲ公布シ
タイト、斯様ニ考ヘテ努力シテ居
ル次第デアリマス

○作間耕逸君

家賃ニ付テハ今考
慮中デ居ツテ、統制撤廻後ノ標準

價格ヲ決メル積リデアルト云フ御
方針デアリマスルガ、原物ノ價格
是ハ矢張リ九・一八以後ノ新規ノ
建物ニ付テハ一應其ノ制限標準ガ
決シテ居リマスガ、其ノ以前ノ古
ク取得シタ建物、或ハ土地等ニ付
テハ全ク今日放任サレテ居ル、統
制ハナイ、今日土地建物ノ値段ガ
殊ニ建物ノ値段ガ非常ニ暴騰シタ
ト云フノハ、十四年九月十八日以
前ニ取得シタ建物ノ價格ハ何等統
制サレテ居ナイ、放置サレテ居ル
ト云フコトニモ原因スルコトガ多
カラウト思ヒマス、是モ嘗ツデハ
何トカ一ツ統制シテ價格ヲ一般的
ニ決メルカ、又ハ決メル標準ヲ定
メルト云フヤウナ説ガ行ハレタコ
トガアリマスルガ、其ノ點ニ付テ
現在ノ政府當局タル復興院次長ハ
ドウ御考ニナツテ居リマスカ、序
ニ伺ツテ置キマス

○政府委員(重田忠保君) 宅地
物ノ價格ニ付キマシテモ、全ク地
代家賃ト同ジヤウナ關係ニナツテ
居リマスノデ、宅地建物ノ統制方
式ニ付キマシテ新ラシイ合理的ナ
統制方式ヲ作リタイト思ヒマシア
ラ、今日ハ此ノ程度デ散會致シタ
イト思ヒマス、次ノ委員會ハ明日
午前十時カラ開キマス、是テ散會
致シマス

○委員長(子爵高木正得君) 大體
御質問モ終ツタヤウデアリマスカ
ラ、是亦同様ニ今實ハ研究ヲ致シテ居
ル最中デゴザイマス

○出席者左ノ如シ

午後三時四十四分散會

委員長	子爵高木 正得君
副委員長	男爵肝付 兼英君
委員	侯爵東郷 彪君
	侯爵嵯峨 實勝君
	伯爵東久世通志君
	子爵森 俊成君
	竹下 豊次君
	原 泰一君
	翁山 精一君
	男爵林 忠一君
	上塙
政府委員	木村篤太郎君
戰災復興院次長	重田 忠保君
大藏政務次官	上塙
司法事務官	司君
奥野 健一君	